

# 官報

號外 昭和六年二月十日

## 第五十九回 帝國議會 貴族院議事速記録第十三號

昭和六年二月九日(月曜日)午前十時三十分開議

### 議事日程 第十三號

昭和六年二月九日 午前十時開議

第一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第十二日)

第二 請願委員長報告

第三 明治四十年法律第十一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 大正十三年法律第二號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 一時金廢兵恩給法中改正ノ請願 會 議

第六 萩線鐵道速成ノ請願 會 議

第七 權利者不明ノ運送品等ノ處分ニ關スル法律制定ノ請願 會 議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

本日著作權法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵柳原 義光君  
副委員長 水野鍊太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、此際御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、本日モ都合ニ依リ日程ヲ變更シテ、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第一ノ國務大臣ノ演說ニ關スル件、第十二日ノ前ニ議シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)  
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 請願委員長報告、清岡子爵

○子爵清岡長言君 請願委員會ノ第一回報告、即チ昭和五年十二月二十六日ヨリ昭和六年二月七日マデノ御報告ヲ申上ゲマス、去ル一月二十二日ニ委員會ヲ開キマシタ、而シテ正副委員長ノ選舉及ビ分科決定並ニ分科擔當委員ヲ選定イタシマシタ、第一分科ハ大藏省、農林省、商工省、第二分科ハ外務省、内務省、文部省、第三分科ハ内閣、司法省、逓信省、拓務省、第四分科ハ陸軍省、海軍省、鐵道省、各分科ノ主査及ビ副主査ノ選舉ハ第二、第三、第四ノ各分科ハ一月二十四日ニ、第一分科ハ一月二十九日ニ終リマシタ、次イデ請願委員會開會定日ヲ毎週金曜日ト定メマシテ、一月二十二日ト二月六日ノ二回開會イタシマシタ、請願委員分科會開會定日ヲ第一、第三ノ兩分科ハ毎週月曜日ニ、第二、第四ノ兩分科ハ毎週火曜日ニ定メマシテ、第一、第三ノ兩分科ハ二月二日ニ、第二、第四ノ兩分科ハ二月三日ニ各一回ツツ開會イタシマシタ、請願文書表報告ハ第一回ヲ一月二十八日ニ、第二回ヲ二月四日ニ、又請願委員會特別報告ハ二月六日ニ提出イタシマシタ、請願受領件數ハ百十七件、之ニ連署イタシテ居リマスル人名數ハ八万三千五百五十名デゴザリマス

ス、次ニ審査ノ經過及ビ結果ヲ御報告イタシマス、請願文書表ニ掲載イタシタ件數ハ第一回、第二回ヲ通ジマシテ九十五件デ、是ガ審議ノ結果、院議ニ付スベシト議決イタシタモノハ四件、院議ニ付スルヲ要セズト議決ヲ致シタモノガ四件、即チ文書表第十號、第十四號、第二十一號、及第二十八號デゴザイマス、審査未了ニ屬スルモノハ八十七件、尙ホ請願文書表ニ未ダ掲載ニ至ラヌモノガ二十二件デゴザイマス、以上ハ昭和六年二月七日午後四時締切マデノ御報告デゴザイマス、此機會ニ於キマシテ請願委員會ノ希望ヲバ簡單ニ申述ベテ置キタイト思フノデアリマス、議院ニ提出セラレマシタ請願ハ深切丁寧ニ調査審議イタシマシテ、其民意民情ヲバ政府ニ取次グト云フコトガ請願ノ本義ト思ヒマス、採擇セラレマシタ請願ヲバ御認容ノ即チ實行如何ハ、政府ノ自由デアアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、併ナガラ折角慎重審議イタシマシタル請願ニ對シテ、是ガ實蹟ヲ見マスルコトハ案外少ナイト云フコトハ頗ル遺憾トスル所ゴザイマス、希クハ政府ハ議院ノ意思ヲ尊重シ、且ツ民意民情ノアル所ニ留意セラレマシテ、本院ニ於テ採擇セラレマシタ請願ハ、出來得ル限り速ニ實行施設セラレコトニ努力セラレルヤウ切望スル次第デゴザイマス、是ガ請願委員會ノ希望デゴザイマス、尙詳シイコトハ請願委員會速記録ニ就テ御承知ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 明治四十年法律第十一號中改正法律案、政府提出、第一讀會

明治四十年法律第十一號中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

右  
昭和六年二月五日

内閣總理大臣臨時代理  
外務大臣 男爵幣原喜重郎  
內務大臣 安達 謙藏

明治四十年法律第十一號中改正法律案  
本法ニ左ノ題名ヲ附ス

癩瘰癧法

第二條ノ二 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一 癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止スルコト

二 古著、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒ヲ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲スコト

第三條 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニシテ病毒傳播ノ虞アルモノヲ國立癩療養所又ハ第四條ノ規定ニ依リ設置スル療養所ニ入所セシムベシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ニ於テ一時救護ヲ爲ス場合ニ要スル費用ノ必要アルトキハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ繰替支辨スベシ

第四條第三項ヲ削ル

第四條ノ二中「被救護者」ヲ「入所患者」ニ改ム

第五條 私立ノ癩瘰癧養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和六年二月五日

明治四十年法律第十一號中改正法律案

明治四十年法律第十一號中改正法律案

本法ニ左ノ題名ヲ附ス

癩瘰癧法

第二條ノ二 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一 癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止スルコト

二 古著、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒ヲ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲スコト

第三條 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニシテ病毒傳播ノ虞アルモノヲ國立癩療養所又ハ第四條ノ規定ニ依リ設置スル療養所ニ入所セシムベシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ニ於テ一時救護ヲ爲ス場合ニ要スル費用ノ必要アルトキハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ繰替支辨スベシ

第四條第三項ヲ削ル

第四條ノ二中「被救護者」ヲ「入所患者」ニ改ム

第五條 私立ノ癩瘰癧養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和六年二月五日

明治四十年法律第十一號中改正法律案

明治四十年法律第十一號中改正法律案

本法ニ左ノ題名ヲ附ス

癩瘰癧法

第二條ノ二 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一 癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止スルコト

二 古著、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒ヲ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲スコト

第三條 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニシテ病毒傳播ノ虞アルモノヲ國立癩療養所又ハ第四條ノ規定ニ依リ設置スル療養所ニ入所セシムベシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ニ於テ一時救護ヲ爲ス場合ニ要スル費用ノ必要アルトキハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ繰替支辨スベシ

第四條第三項ヲ削ル

第四條ノ二中「被救護者」ヲ「入所患者」ニ改ム

第五條 私立ノ癩瘰癧養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和六年二月五日

明治四十年法律第十一號中改正法律案

明治四十年法律第十一號中改正法律案

本法ニ左ノ題名ヲ附ス

癩瘰癧法

第二條ノ二 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一 癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止スルコト

二 古著、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒ヲ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲スコト

第三條 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニシテ病毒傳播ノ虞アルモノヲ國立癩療養所又ハ第四條ノ規定ニ依リ設置スル療養所ニ入所セシムベシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ニ於テ一時救護ヲ爲ス場合ニ要スル費用ノ必要アルトキハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ繰替支辨スベシ

第四條第三項ヲ削ル

第四條ノ二中「被救護者」ヲ「入所患者」ニ改ム

第五條 私立ノ癩瘰癧養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和六年二月五日

明治四十年法律第十一號中改正法律案

明治四十年法律第十一號中改正法律案

本法ニ左ノ題名ヲ附ス

癩瘰癧法

第二條ノ二 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一 癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止スルコト

二 古著、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒ヲ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲スコト

第三條 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニシテ病毒傳播ノ虞アルモノヲ國立癩療養所又ハ第四條ノ規定ニ依リ設置スル療養所ニ入所セシムベシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ニ於テ一時救護ヲ爲ス場合ニ要スル費用ノ必要アルトキハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ繰替支辨スベシ

第四條第三項ヲ削ル

第四條ノ二中「被救護者」ヲ「入所患者」ニ改ム

第五條 私立ノ癩瘰癧養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和六年二月五日

明治四十年法律第十一號中改正法律案

明治四十年法律第十一號中改正法律案

本法ニ左ノ題名ヲ附ス

癩瘰癧法

第二條ノ二 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一 癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止スルコト

二 古著、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒ヲ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲スコト

第三條 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニシテ病毒傳播ノ虞アルモノヲ國立癩療養所又ハ第四條ノ規定ニ依リ設置スル療養所ニ入所セシムベシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ニ於テ一時救護ヲ爲ス場合ニ要スル費用ノ必要アルトキハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ繰替支辨スベシ

第四條第三項ヲ削ル

第四條ノ二中「被救護者」ヲ「入所患者」ニ改ム

第五條 私立ノ癩瘰癧養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和六年二月五日

明治四十年法律第十一號中改正法律案

明治四十年法律第十一號中改正法律案

本法ニ左ノ題名ヲ附ス

癩瘰癧法

第二條ノ二 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一 癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止スルコト

二 古著、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒ヲ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲スコト

第三條 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニシテ病毒傳播ノ虞アルモノヲ國立癩療養所又ハ第四條ノ規定ニ依リ設置スル療養所ニ入所セシムベシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ニ於テ一時救護ヲ爲ス場合ニ要スル費用ノ必要アルトキハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ繰替支辨スベシ

第四條第三項ヲ削ル

第四條ノ二中「被救護者」ヲ「入所患者」ニ改ム

第五條 私立ノ癩瘰癧養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和六年二月五日

明治四十年法律第十一號中改正法律案

明治四十年法律第十一號中改正法律案

本法ニ左ノ題名ヲ附ス

癩瘰癧法

第二條ノ二 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一 癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止スルコト

二 古著、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒ヲ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲スコト

第三條 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニシテ病毒傳播ノ虞アルモノヲ國立癩療養所又ハ第四條ノ規定ニ依リ設置スル療養所ニ入所セシムベシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ニ於テ一時救護ヲ爲ス場合ニ要スル費用ノ必要アルトキハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ繰替支辨スベシ

第四條第三項ヲ削ル

第四條ノ二中「被救護者」ヲ「入所患者」ニ改ム

第五條 私立ノ癩瘰癧養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和六年二月五日

明治四十年法律第十一號中改正法律案

明治四十年法律第十一號中改正法律案

本法ニ左ノ題名ヲ附ス

癩瘰癧法

第二條ノ二 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一 癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止スルコト

二 古著、古蒲團、古本、紙屑、襤褸、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒ヲ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲スコト

第三條 行政官廳ハ癩瘰癧防上必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニシテ病毒傳播ノ虞アルモノヲ國立癩療養所又ハ第四條ノ規定ニ依リ設置スル療養所ニ入所セシムベシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ニ於テ一時救護ヲ爲ス場合ニ要スル費用ノ必要アルトキハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ繰替支辨スベシ

第四條第三項ヲ削ル

第四條ノ二中「被救護者」ヲ「入所患者」ニ改ム

第五條 私立ノ癩瘰癧養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ

右

勅旨ヲ奉シ帝國

定ムル所ニ從ヒ第二條ノ二第一號ノ規定ニ依ル從業禁止又ハ第三條第一項ノ規定ニ依ル入所ニ因リ生活スルコト能ハザル者ニ對シ其ノ生活費ヲ補給スベシ

第七條第一項ヲ左ノ如ク改メ同條第三項ヲ削ル  
左ノ諸費ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

一 第二條ノ二第二號ノ規定ニ依リ行政官廳ニ於テ物件ノ消毒又ハ廢棄ヲ爲ス場合ニ要スル諸費

二 入所患者(國立癩療養所入所患者ヲ除ク)及一時救護ニ關スル諸費

三 檢診ニ關スル諸費

四 其ノ他道府縣ニ於テ癩豫防上施設スル事項ニ關スル諸費

第七條ノ二 本法ニ依リ北海道地方費又ハ府縣ニ於テ負擔スベキ費用ハ東京府伊豆七島及小笠原島ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第八條中「前條」ヲ「第六條及第七條ノ規定ニ依ル」ニ改ム

第九條中「扶養義務者」ヲ「親族」ニ改ム

第十條 第一條ノ規定ニ違反シ又ハ第二條ノ二ノ規定ニ依ル行政官廳ノ處分ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十條ノ二 第二條ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第十一條 醫師若ハ醫師タリシ者又ハ癩豫防事務ニ關係アル公務員若ハ公務員タリシ者故ナク業務上取扱ヒタル癩患者又ハ其ノ死者ニ關シ氏名、住所、本籍、血統關係又ハ病名其ノ他癩タルコトヲ推知シ得ベキ事項ヲ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條中「行政官廳ニ於テ救護中」ヲ「療養所ニ入所中又ハ第三條第二項及

第三項ノ規定ニ依ル一時救護中」ニ改ム  
附則  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

參照  
明治四十年法律第十一號ハ癩豫防ニ關スル法律ナリ  
〔政府委員齋藤隆夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(齋藤隆夫君) 明治四十年法律第十一號中改正法律案、右提案ノ理由ヲ大要申述ベマス、癩ノ豫防根絶方國民保健上ハ勿論、人道上カラ見マシテモ忽諸ニ付スルコトノ出來ナイコトハ、言フヲ俟タナイ所デゴザイマシテ、當局ハ從來之ニ向テ銳意努力ヲ續ケテ參タクノデアリマス、其結果近年療養所モ漸次擴張増設セラレマシテ、患者ノ數モ逐年減少スルニ至リマシタコトハ誠ニ喜バシキ次第デアリマス、併ナガラ國內ニハ尙ホ万位ヲ算スル患者ヲ有シ、收容設備ハ僅ニ三千ヲ出デナイト云フ狀況デアリマシテ、今後更ニ一段ノ努力ヲ要スルモノガアルノデゴザイマス、現在施行セラレテ居リマス癩豫防ニ關スル法律ハ明治四十年ノ制定ニ係リ、其企圖スル目的ハ、患者ノ救護、就中浮浪徘徊ノ徒タル患者ノ救護ニアリマシテ、一般ノ癩患者ノ處置、其他本病豫防上必要トスル數多ノ事項ニ付キマシテハ遺憾ノ點ガ少クナイノデアリマス、昨秋長クモ皇太后陛下ヨリ癩ニ關シテ誠ニ有難キ御思召ノアリマシタコトハ、各位ノ御存知ノ通りデアリマシタガ、最近國立癩療養所モ開設セララルコトニナリマシテ、又社會各方面ニモ癩ノ救護豫防ヲ目的トシタ團體ノ活動ヲ見ルト云フ有様デ、國民ノ上下ヲ通ジテ癩豫防ニ關スル輿論ガ喚起セララルモ、國家ノ體面上、本病關係ヨリ見マサルモ、必要ガ愈々緊切デアラト存ジマスルコトデ、此機會ニ於キマシテ本法ヲ改正シテ癩豫防上遺憾ナキヲ期シタ

イ趣旨ヲ以テ、茲ニ癩豫防法中改正案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、本案ニ依ル改正條項ハ十數項ニ互ルノデゴザイマス、ルガ、其主要ナル事項ハ大體次ノ諸點ニアラデアリマス、即チ第一ハ患者ノ療養所入所資格ヲ擴張シタコトデアリマス、現行法ニ於キマシテハ患者ノ入所資格ハ癩患者ニシテ療養ノ途ヲ有セス且ツ救護者ナキモノト限定サレテ居ルノデゴザイマス、是デハ其範圍ガ狭少ニ過ギ癩豫防上且ツ癩患者收容上不適當デアリマス、之ヲ改メマシテ、癩病傳播ノ虞アル患者トシマシテ、之ニ該當スルモノト認ムベキ患者ニ對シマシテハ、其實力ノ有無、救護者ノ存否ヲ問ハズ、總テ入所セシメ得ルコトニシタデアリマス、第二ハ患者ノ入所費及ビ患者竝ニ其同伴者、同居者ニ對スル一時救護費ハ、之ヲ國家又ハ道府縣ノ負擔トスルコトニ改メタデアリマス、即チ從來是等ノ費用ハ本人又ハ其扶養義務者ノ負擔デアリマシタノデ、其結果ハ屢患者ノ入所ヲ妨ゲ、或ハ思ハザル家庭上ノ悲劇ヲ惹起ス等、癩豫防上却テ所期ノ目的ト背馳スルガ如キ事例ニ乏シクナカッタデアリマス、仍テ是ハ今後國庫又ハ道府縣ニ於キマシテ之ヲ負擔スルコトニ致シタデアリマス、第三ハ癩患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ行政官廳ニ於キマシテ禁止シ得ルコトヲ認メ、其從業禁止ニ依リ又ハ療養所入所ニ依テ生活スルコト能ハザルニ至リマシタモノニ對シマシテハ、道府縣カラ其生活費ヲ補給サセルコトニ致シタ點デアリマス、是ハ結核豫防法等ニハ現ニ其規定ガアリマス、癩ノ場合ニ於キマシテモ同様ノ必要ガアルト考ヘラレカラデアリマス、第四ハ醫師又ハ癩豫防事務ニ關係アル公務員ニ對シ、業務上取扱ヒマシタ癩患者又ハ其死者ニ關スル氏名、血統ノ關係又ハ癩タルコトヲ推知シ得ルガ如キ事項ノ漏泄ヲ禁ズルコトニシタデアリマ

ス、是ハ癩病ニ對スル今日ノ社會事情ヲ考慮シテ最モ必要ノコトニ存ゼラレルカラデアリマス、其他病毒ニ汚染シ、又ハ汚染ノ疑ヒアル物件ニ對スル處置ニ關スル規定ノ追加、私立療養所ノ道府縣立療養所代用規定ノ廢止、私立療養所ノ設置管理ニ關スル監督規定ノ追加、癩ト診斷セラレル場合ニ於ケル檢診請求權者ノ改正等ヲ致シタデアリマス、以上簡單ナガラ要旨ヲ御説明申上ゲマシタガ、何卒慎重御審議ノ上御協贊アラムコトヲバ切ニ御願ヒ致シマス  
○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ衛生組合法案外一件ノ特別委員ニ付託イタシマス  
○議長(公爵徳川家達君) 大正十三年法律第二號中改正法律案、政府提出、第一讀會  
大正十三年法律第二號中改正法律案  
右  
勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス  
昭和六年二月五日  
内閣總理大臣臨時代理  
外務大臣 男爵幣原喜重郎  
拓務大臣 松田 源治  
遞信大臣 小泉又次郎  
海軍大臣 男爵安保 清種

大正十三年法律第二號中改正法律案  
大正十三年法律第二號中左ノ通改正ス  
本法ニ左ノ題名ヲ附ス  
海軍軍備制限條約實施法  
第一條第二項中「大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約」ヲ「及昭和六年條約第一號千九百二十年「ロンドン海軍條約」ヲ加フ

附則  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
〔政府委員男爵矢吹省三君演壇ニ登ル〕  
○政府委員(男爵矢吹省三君) 本案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、昭和六年條約第一號、千九百三十年「ロンドン」海軍條約ハ、

御承知ノ通り日英米三國ニ關スル限リ昨年十二月三十一日ヨリ效力ヲ生ズルコトト相成リマシタ、此條約ノ規定ニ依リマスト、大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ場合ト同様ニ、政府ハ單ニ政府自身ノ行爲ヲ羈束セラルルニ止マリマセヌ、其國內一般ニ於ケル一定ノ行爲ヲモ亦之ヲ禁壓スルノ義務ヲ負ハセラルルノデアリマス、從テ此義務ヲ履行イタシマス爲ニハ國內法ノ發布ヲ必要ト致シマスガ、現ニ大正十二年條約第二號、海軍軍備制限ニ關スル條約ニ付キ、大正十三年法律第二號、海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律ガ施行セラレテ居ルノデアリマス、故ニ茲ニ新タニ法律ヲ制定セズ、茲ニ右法律ニ適當ナル改正ヲ施サムトスル次第デアリマス、本法改正ハ、右ノ趣旨ヲ以テ立案セラレタモノデアリマシテ、國際條約ノ義務ヲ履行スル上ニ於キマシテ、誠ニ必要ナルモノゾゴザイマスカラ、何卒御協賛ヲ給ハラムコトヲ希ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質疑モナイト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔山本書記官朗讀〕  
大正十三年法律第二號中改正法律案特別委員

- 公爵徳川 岡順君 伯爵黒木 三次君  
子爵松平 康春君 男爵坂本 俊篤君  
内田 重成君 山川 端夫君  
鍋島桂次郎君 田所 美治君  
八馬 兼介君

○議長(公爵徳川家達君) 一時金廢兵恩給法中改正ノ請願、秋線鐵道速成ノ請願、權利者不明ノ運送品等ノ處分ニ關スル法律制定ノ請願、會議  
〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

官報號外 昭和六年二月十日 貴族院議事速記録第十三號 一時金廢兵恩給法中改正ノ請願外二件 會議 國務大臣ノ演說ニ關スル件

意見書案  
一時金廢兵恩給法中改正ノ件  
島根縣邑智郡高原村平民僧侶三浦信行外一名呈出  
廣島縣尾道市十四日町公吏國安末吉外十三名呈出

右ノ請願ハ世態ノ進運ト經濟界ノ推移ニ伴ヒ文武官ノ恩給ハ漸次改正セラレタルニ拘ラス軍人ノ傷痍者ノ大半ハ單ニ一時金ヲ受ケタルノミニシテ生活上何等ノ保障ナク爲ニ今ヤ窮境ニ陥レルモノ尠カラサルハ國民士氣振興上甚タ遺憾ナルニ依リ速ニ恩給法ヲ改正シ以テ此等ノ者ニ對シテモ優遇安定ノ途ヲ講セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和六年 月 日  
貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣臨時代理 外務大臣男爵幣原喜重郎殿

意見書案  
秋線鐵道速成ノ件  
山口縣阿武郡三見村長山中貞七外十名呈出

右ノ請願ハ秋線鐵道ハ目下工事中ナルモノニ依リ山陰線鐵道全線ノ開通ヲ見ルノミナラス日本海方面ニ於ケル産業ノ發達ニ資スルコト尠カラサルヲ以テ工事未著手ノ箇所ハ速ニ起工セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和六年 月 日  
貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣臨時代理 外務大臣男爵幣原喜重郎殿

意見書案  
權利者不明ノ運送品等ノ處分ニ關スル法律制定ノ件

大坂市北區堂島濱通株式會社浪華倉庫事務取締役岡戸諭介外十一名呈出  
右ノ請願ハ權利者不明ノ運送品、寄託品等ノ處分ニ關スル法律ハ今尙ホ之レカ制定ナキ爲メ關係業者ハ其ノ處置ニ迷ヒ或ハ法ニ觸ルルヲ恐レテ屢々物品ノ自然潰滅ヲ待チ或ハ放置スルニ至リ國家經濟上ノ損失尠少ナラサルヲ以テ速ニ請願人等處案ノ如キ法律ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和六年 月 日  
貴族院議長 公爵徳川 家達  
内閣總理大臣臨時代理 外務大臣男爵幣原喜重郎殿

○議長(公爵徳川家達君) 何レモ請願委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 國務大臣ノ演說ニ關スル件第十二日、山岡萬之助君ノ登壇ヲ望ミマス  
〔山岡萬之助君演壇ニ登ル〕

○山岡萬之助君 昨ハ五十八議會ニ於キマシテ、不景氣失業問題ニ關シマシテ、政府ニ質疑ヲ致シタノデアリマス、政府ニ於テモ、責任ヲ以テ是ニ適當ナル措置ヲ執ル、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、爾來其爲ス所ヲ靜觀イタシテ居リマシタノデスガ、次第ニ不景氣ハ深刻ニナリマシテ、國民ノ不安ト云フモノガ誠ニ繁クナリマシタノデアリマス、茲ニ國民ノ生活不安ノ問題ト致シマシテ、經濟上、思想上ヨリ致シマシテ、政府ニ質問モ致シ、御答辯ヲ求メタイト思フノデアリマス、前議會ニ於キマシテ濱口總理ハ、不景氣ト失業問題ト云フモノハ現内閣ノ整理緊縮ノ結果デアアルコトハ認メル、併シソレニ付テ世界的ノ不況モアルノデア

ル、之ニ付テハ緊縮ノ結果ニ於ケル責任ハ負ヒ、世界的ノ不況ノ結果ニ付テハ政府ハ責任ヲ以テ之ニ對策ヲ講ズル、其對策トシテハ唯單ニ或措置ヲ執ルコト云フニ非ズシテ、具體的ノ施設ヲシナケレバナラナイ、其具體的ノ施設トシテ舉示セラレタル事務ハ、産業ノ合理化、國產愛用、船舶金融、輸出補償、肥料ノ配給、是等ノコトヲ、而モ緊縮ノ方針ノ範圍ヲ出ナイ限りニ於テ産業振興ノ種ヲ播ク、斯様ニ仰シヤクノデアリマス、デ此御言葉ノ中ニハ緊縮政策ハ結果ニ付テハ責任ヲ感ズル、而シテ世界不景氣ノ結果ニ付テハ、是ハ現政府ニ於テ對策ヲ執ラネバナラナイ、其對策ハ只今申上ガタ事務デアリマシテ、而シテ對策ハ緊縮方針ノ範圍ヲ出ナイ、此事ガ極メテ重要ナル條件トナラシ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ政府ノ爲サタコトガ、此御言葉通りニ出來テ居ルノデアアルカ如何、斯ウ云フ意味ニ於テ今日迄ナサタコトヲ觀察イタシタイノデアリマス、デ政府ハ斯ノ如ク責任ヲ以テ對策ヲ御執リニナルト云フノデアリマスルカラ、議會終了後ニ於テハ速ニソレゾレ措置ヲ御執リニナラナケレバナラヌコトハ申ス迄モナイ話デアリマス、然ル所議會ガ終了スルト二十日程過ギマシテ、此議場ニ於テモ屢々御言葉ニアリマシタヤウニ八千万圓ノ豫算替ヲ致シタ、豫算ノ辻褄ガ合ハナクナリマシタカラ、茲ニ其手續ヲシテ、結果トシテ六千五百万圓ヲ行政經濟化ノ名ノ下ニ整理ヲシテ、斯ウ云フ對策ヲ速ニ立テテ餘地ガナカク、此豫算替ノコトニ付キマシテハ、前議會ニ於キマシテ私モ此席ニ於テ申上ゲタノデアリマス、豫算ハ一國ノ政治ニ於キマシテハ頗ル重要ナモノデアリマシテ、是故ニ外國ニ於テハ法律トナラシ居リマスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、法律ニナラシ居レバ之ヲ變ヘルコトノ出來ナイコトハ疑ヒナイ所デア

リマス、我國ノハ法律デアリマセヌガ故ニ、實行豫算ト云フモノガ展、現ハレルノデアリマス、然レドモ豫算ノ性質ハ何ト申シテモ單純ナルモノニ非ズシテ、議會ノ協賛ヲ經マシタル以上ハ國民ハ之ニ依テ本年ノ政府ノ財政施設ハドレダケデアルト云フコトヲ承シ、ソレニ依テソレノノ事業ヲ遂行スル意味ニナルノデアアルコトハ勿論デアリ、其上行行政官廳ノ事務ノ進則トナツテ參リマスルノデアリマス、之ヲ現内閣ノ如ク、一箇年ノ間ニ四回ノ變更ヲ企テルト云フコトハ、是ハ極メテ不都合ナコトデアリマス、番ニ官廳ノ事務ノ紛更ヲ來スダケデアリ、國務ノ堅實性ト云フモノハ、之ニ依テ破ラレシマフト思フノデアリマス、而モ立法院ノ職能トシテ最モ大切ナル所ノモノヲ、政府ノ考ヘ一ツニ依テ變ヘラレルト云フコトニナリマシテハ、協賛ノ實ト云フモノガ何レニアリヤト云フコトニナルト思フノデアリマス、現内閣ハ豫算ニ付テハ誠ニ惡例ヲ私ハ殘シタモノト申サナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ノ如キ狀況ニ於キマシテ、豫算ノ關係ヲ整理シ、變更スルガ爲ニ他ノ重要ナル財界對策ニハ力ヲ十分ニ盡スコトガ出來マセヌガ爲ニ、國民生活ハ日ニ惡化イタシマシテ、精神上ニモ、即チ思想的ニ良クナイ結果ヲ來シテ居ルノデアリマス、私ハ茲ニ政府ガ財界對策トシテ爲サツコトヲ指摘シテ見タイト思フノデアリマス、濱口總理ノ御述ベニナリマシタ所ノ産業合理化デアリマス、此産業合理化ノコトハ一般ニ廣ク唱ヘラレテ居リマスルノデ、餘程良キ仕事ガ出來テ居ルト世間ハ感ジテ居ルト思フノデアリマス、而モ産業合理化ハ商工大臣ヲ長官ト致シテ居ル所ノ大キナ局デアリマス、ソレガ昨年ノ六月ニ設ケラレマシテ爾來何ヲ爲サツカ、僅ニ三千万圓ノ生産高ヲ持テ居ル、縮ニテ及縮縮ノ統制ヲ致シタニ過ギマセヌノデアリマス、ソレノ外ニ何モ致シテ居リマセ

ス、即チ效果ノ舉ガツタ仕事ハ此二ツノ外何モ致シテ居リマセヌ、即チ效果ノ舉ガツタ仕事ハ此二ツノ外無イノデアリマス、ソレデアリマスカラ、産業合理化ト政府ガ仰セガアツテ、爲サツタト云フコトハ、殆ド此不況對策ニハ效果ガナイト申上ゲテ宜イノデアリマス、又産業合理化ト云フコトガ、主務大臣デアラセラレル商工大臣ハ當面ノ此不景氣ノ問題ニモ効果ガアルヤウニ御考ヘニナツテ居ルヤウデアリマス、此事ハ濱口總理大臣ノ御言葉ガアルノデアリマス、即チ一時ノ對策問題デアハナク、永キニ互ル國家的重大問題デアツテ、國民ト産業自體ノモノデアリ、合理局ト云フモノハ、水先案内ノ役ニ止マルモノデアアルト明言セラレテ居ルノデアリマス、其通りデアリマシテ、是ハ恒久對策デ、産業ノ統一、規格ノ問題及ビ單純化ヲ圖リ、依テ大量生産ヲシ、生産費ヲ減額スル、是ガ本體デアアルト思フノデアリマス、ソレデアアルカラシテ、當面ノ急場ニハ間ニ合ハナイ仕事デアリマス、ソレデ合理化ノコトニ付キマシテハ、私ハ茲ニ今一ツ附加ヘテ申シテ見タイノデアアル、是ハ政府與黨ノ民政黨ノ宣言ニ於テ、産業ハ合理化シ、サウシテ能率ヲ高メル、斯様ナ言葉ガアリマス、是ダケ宣言書ニアリマス以上ハ、組織早々之ヲ實施スルノガ當然デアラウト思フノデアリマス、此内閣ノ政策トシテハ産業合理化ト云フコトハ大ナル政策ニナツテ居ル、然ラバ直チニ實施スルノガ當然デアリマス、ソレヲ一昨年ノ十二月ニナリマシテ商工審議會カラ上申ガアリ、茲ニ臨時産業審議會方出來マシテ、ソレカラ漸ク昨年ニナツテ其事務ガ實際化シテ、昨年ノ六月ニ合理局ガ出來タ、是ハ誠ニ政治ノ行キ方トシテハ私ハ適當デアイト思フ、政府ハ金解禁ヲ目標ニ置イテ御進メニナツタ以上ハ、金解禁ノ爲ニ必要デアアル生産費ノ減額ト云フコト、之ニ付テ合理化ノコトヲ速ニ御圖リニナルト云フコトハ當然ナコトデアツタ

ト考ヘマス、之ヲ漸クニシテ組閣後約一年後ニ御作りニナツテ、其效果ハ先キニ申上ゲタ通りノ效果ホカナイコトハ、我ハ誠ニ遺憾ニ思フ點デアリマス、ソレハ金解禁ノ準備トシテ、是ハ極メテ必要ナコトデアツタト私ハ思ヒマス、生産費ヲ減額シテ行クト云フコトガ、物價ヲ低落セシメル所以デアリマス、ドウシテモ爲サラネバナラナカッタコトデアアルト思ヒマス、ソレカラ生産費ヲ減額スルコトニ付キマシテ、政府ハ御承知ノ如クニ減額問題ヲ考究イタサレ、之ヲ一昨年ノ十月ニ公表イタサレタノデアリ、其減額ノ理由ハ、物價ガ低落シタカラシテ、減額一割ヲスルコトガ適當デアアル、政府ハ之ニ依テ官吏ノ俸給ヲ減ジ、其比率ニ於テ地方團體ノ公吏其他ノ職員ノ俸給ヲ減ジ、更ニ一般ノ會社銀行等ニ其額ヲ示シテ、之ニ倣ハセヤウトナサツタコトハ、私ハ明瞭ダト思フノデアリマス、之ヲ發表セラレタノガ即チ十月十六日デアリマシテ、官民協力シテ減額ヲヤレバ、必ズ物價ハ下落シ、從テ其程度ニ於テ國民經濟ノ立直シガ出來ル、斯ウ云フコトヲ井上藏相ハ御述ベニナツタ、所ガ輿論ノ反對ヲ受ケマシテ非常ニ問題トナリマシタルコトハ御承知ノ如クデアリマス、ソコデ十九日二十日其邊ニ於テハ、井上藏相ハ此案ハ如何ナル意味ニ於テモ變更シナイ、斯ウ云フコトヲ公表イタサレテ居ル、然レドモ世ノ中ノヤガマシイ結果ト致シマシテ遂ニ之ヲ棄テ、シマツタ、而モ閣外ノ仙石氏ノ忠言ヲ容レテ、之ヲ棄テタノデアリマス、而モ其棄テタ結果カラ見ルト云フコト、恰モ弊履ノ如ク棄テ、而シテ其後ニハ此事ニ付テハサツパリ志レタヤウナ態度ヲ御執リニナツテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ頗ル遺憾ト致ス所デアリマス、何故ト申シマスレバ、金ハ解禁イタサレマスト云フト一割以上ノ價格ガ騰貴シテ其割合ニ物價ガ下落イタシマス、ドウシテモ俸給ヲ一割減スト云フコトハ、是ハモウ是

非爲サネバナラヌコトデアツタノデアリマス、又當然ノコトデアアル、故ニ金ヲ解禁シテ物價ヲ低落セシメル爲ニ生産費ヲソレダケ減シテ、斯ノ如クニシテ金解禁ノ準備行爲ヲシテ進ムニハ、是ガ即チ根本政策デアリハアツタト思フノデアリマス、即チ此議席ニ於キマシテ、井上藏相ハ低物價政策ト云フコトハ國際貸借ヲ改善スルニ於テハ必要デアリ、其低物價政策ニ付テハ生産費ヲ減ゼシメナケレバナラヌ、是マデハ衆議院ニ於テモ左様ニ御述ベニナツテ居ル、先日其上ニ更ニ生産費ヲ減ジマスルニハ勞銀ヲ下ゲナクテハナラナイ、此御言葉ガアツタノデアリマス、此勞銀ヲ下ゲルト云フコトガ是ガ何トシテモ必要ナコトデアアル、故ニ俸給ノ減額ヨリシテ勞銀ノ低減ヲ致スト云フコトハ、現内閣ノ金解禁ニ對スル政策トシテハ、是ハ根本的ノモノダト私ハ考ヘマス、故ニ之ヲ拋棄ナサツタト云フコトハ、重大ナル政策上ノ缺陷ヲ生ジタモノト私ハ認メル、之ニ付テハ特ニ政府ノ辯明ヲ求メタイノデアリマス、次ニ商工方面ニ於ケル對策ト致シマシテハ國產ノ愛用デアリマス、國產愛用ノ政府ノ宣傳ニ依リマシテ、勿論或ル程度ノ效果ハ有ツタデアリマセウ、然レドモ商工大臣ガ御考ヘニナツテ居ル六億圓ノ額ダケ、外國品ニ内國品ヲ以テ代リ得ルト云フ、其額ニ付テデアリマス、商工大臣ハ其半額三億圓ダケデモ、十二萬人ノ人ノ救済ニナル、斯ウ云フ御言葉デアリマス、御言葉ハ誠ニ結構デアリマスレドモ、金解禁ノ結果トシテ、財界ハ極度ノ疲弊ニ陥テ居リマシテ、産業ト云フモノガ、即チ工場ト云フモノガ閉鎖シテ、生産事業ト云フモノハ進マナイ以上ハダス、外國品ニ代リ得ル所ノ生産品ト云フモノガ、茲ニ出來テ參ラナイ、如何ニシテソレダケノ多額ノモノガ代リ得ルデアリマセウカ、即チ生産品ト云フモノガ、ソレダケノ多額ノモノ、否極メテ少數ノ物ホカ出來ナイ事實デアリマス、

デアリマスルカシテ、國産愛用ト云フコトハデス、之ヲ以テ今日ノ對策トシテ多大ノ效果アリトハ考ヘラレマセヌ、ソレカラ更ニ此輸出補償制度デアリマスガ、輸出補償制度ニ付キマシテハ、前議會ニ於テ、其籌算方成立イタシマシテ、豫定セラルル所ハ補償手形ノ總額一千万圓ノ豫定デアッタシデアリマス、然ルニ昨年ノ十二月迄、八千万圓位ノモノホカ手形ガ出來テ居リマセヌデアリマス、是ダケノ八千万圓ノ補償ヲ致シテ、ソレヲ輸出ノ獎勵ガ出來ルト云フコトハ、是ハ考ヘラレナイコトデアアル、殊ニ一千万圓ノ豫定ヲ致シテ其何分カニ過キヌデアリマス、一月カラ三月迄ニ、到底此豫定ノ結果ニハ到達イタサヌデアリマス、デアリマスルカラ之ニ付テ深ク申上タル必要ヲ認メマセヌ、斯ノ如クニシテ更ニ政府ノ爲メタ所ヲ見マスレバ、金融界ノ改革ヲ致シマスル爲ニ、低利資金ニ目的ヲ立テラレタデアリマス、即チ中小商工農業者救済ノ爲ニ、二千万圓ノ低利資金ヲ信用組合ヲ通ジテ、融通イタシマシタ、此成績ハ一千万圓ノ程、今日ニ至ル迄實際ニ融通イタシテ居ルデアリマス、是ダケノコトガ商工方面ニ於テノ對策デアリマス、御承知ノ如クニ商工業ノ範圍ニ於ケル不景氣ノ事情ト云フモノハ、頗ル深いモノガ有ルデアリマシテ、是ダケノモノヲ以テ、私ハ到底對策トシテ、救済策トシテ成立シタモノトハ考ヘマセヌ、是故ニ商工大臣ノ主管ニ於テ爲サタコトニ付テハ、私ハ對策ハ不十分ナリト斷ズルモノデアリマスガ故ニ、商工大臣ニ對シテ、之ヲ御尋ネ致ス考ガ無イデアリマス、次ニ農林所管ノ範圍ニ於ケル事情ヲ申シテ見タイト思フデアリマス、農村ノ生活ノ困難ト云フコトハ、私ガ喋々スル迄モアリマセヌ、商工ノ範圍ハ、其施設ノ遲延ヲ相當ニ早イデアリマシテ、即チ商人ハ物ヲ買ウテ他ニ販賣シテ行ク「ストック」ヲ持テ居リマシテモ、忽チ

ニ循環シテ參リマスケレドモ、農村ノコトハサウ單純ニハ參リマセヌ、米ヲ作リマシテモ、一年ニ一度ト云フ關係デアリマスカラ、是ハ一度不景氣ヲ受ケマスト云フト、容易ニ回復シナイ、而モ今日ノ不景氣ハ都市ヨリ農村ヘ及ビマシテ、農村問題ト云フモノガ今日最モ私ハ困難ナモノニナラダト思ヒマス、ソコデ農村ニ對シマシテ只今申上ダマシタ此ノ二千万圓ノ低利資金ノ融通ハ商工農ト云フテ融通シテ居リマスルカ、其一部ハ確カニ農村ニヤテ居ルガ、其後五百萬圓、此資金ヲ增加イタシテ居リマスルガ、是ハ至テ手ガ付イテ居リマセヌ、一ツモ此農工商ノ人達ニ渡テ居リマセヌ、テ其次ニ農村ノ問題トシテ講ノ價ガ非常ニ下落イタシマシタガ爲ニ、養蠶ノ應急資金トシテ三千万圓ヲ出シテ居ルデアリマス、此三千万圓デアリマスルガ、是ハ補償ガ低落イタシテ補償安定期間法ノ出動ニ依テ生絲ノ救済ヲ致シマシタ、ソレト相違ンデ之ヲ御出シニナルト云フコトハ、是ハ當然適當ナコトト考ヘマス、唯併シ最初計畫サレタノハ四千万圓デアリマスケレドモ、事實ハ三千万圓ニ減額サレテ居ルデアリマス、是ハ農林當局ヨリ減額イタシテ居ルデアリマス、然ルニ此事柄ニ付テハ、井上藏相ハ財政經濟ノ御演說ニ於テ、是ハ御述べニナラシテ居リマシテ、兩シテ農林大臣ハ此壇上ヨリ四千万圓ノ應急資金ヲ出シテ居ル、斯ウ云フ御言葉デアリマス、是ハ私ハ何モ言葉ヲ御答メ致スノデハアリマセヌケレドモ、國務大臣ノ御言葉ハ一般國民ニ取リマシテハ非常ニ重イ意味ヲ爲スモノデアリコトハ申上タル迄モナイコトデアリマス、斯ノ如ク四千万圓、三千万圓、一千万圓ノ差ト云フモノハ、是ダケノコトニ付テハ頗ル重大デアリマス、ソレダケニ、減額ナサテ居ルノニ、此議場ニ於テ四千万圓ト仰シタルコトハ、私ハ甚ダ適當デナイト思ヒマスル、

即チ國務大臣ノ御言葉ハ極メテ重イモノデアリマスルガ故ニ、斯ノ如ク不注意ナル御言葉ヲ御用ヒニナラヌコトヲ私ハ希望イタシマス、次ニ失業救済ノ名義ニ於キマシテ七千万圓ノ御出シニナラシテ居ル點デアリマス、此七千万圓ハ農林大臣トシテハ最モ重大ナル政策ノ一ツト御考ヘニナラデ、茲ニ決定ヲ見ルニ至リマシタ迄ニハ隨分御苦勞ヲナシテ居ルヤウデアリマス、テ信用組合其他適當ナル金融機關ヲ通ジテ七千万圓ノ資金ヲ融資シタイト考ヘテ居ラレタデアリマスルケレドモ、前ニナサレマシタル所ノ二千五百万圓ノ問題モナカク、滑カニ行カヌデアリマス、其結果トシテ地方自治體ヲ責任者ト致シマシテ、道府縣ノ起債ヲ以テ之ヲ行フコトニナルマシタデアリマス、此起債ノコトハ後ニ述ベタイト思ヒマスルガ、目的ト致サレル所ハ耕地、山林、桑園ノ開發改良、水産畜産及農事副業、各種ノ共同施設ヲセラレル、是ダケノ事ヲ爲サレルニ付テ内容ヲ見マスルト、是ハ眞ニ地方ノ産業施設、失業救済ノ名前ヲ御付ケニナラト云フコトニ付テ、私ハ疑義ヲ有テ居ルデアリマス、而シテ昨年道府縣ニ對シテ額額ヲ決定シテ通達サレマシタガ、今日ニ至ルマデ起債ノ許可ノ出來マシタルモノハ數縣ニ過ギマセヌ、未ダ實際ニハ一モ行ハレテ居リマセヌデアリマス、即チ是モ亦聲ハ大キクデアリマスケレドモ、實ハ未ダ專ラテ居ラヌデアリマス、デ此コトハ地方自治體ノ起債ニ仰ダコトニナリマシタノデ、地方財政ト云フモノガ其程度ダケ膨脹サレルコトハ勿論デアリマス、テ農政總理ノ言葉ヲ私ハ特ニ申上ダマシタ、緊縮政策ノ範圍ヲ超越シナイ限リニ於テ對策ヲ講ズルト云フ御言葉デアッタ、然ルニ此起債ハ昨年幕マデニ、地方起債ハ一億二千八百万圓ニナラシテ居リマシタコトハ、御承知ノ通りデアリマス、之ニ七千万圓ヲ加ヘテ、莫ニ強ニ申請中ノ起債ノ許可スベキモノ、

及ビ本年一月カラ三月、本年末マデノモノヲ加ヘマスルト云フト二億數千万圓ニ地方ノ起債ハナルデアリマス、サウ致シマスルト云フト、政府ガ四年度ニ於テ起債ノ許可額一億六千三百万圓、是ハ先ツ緊縮政策ニ合フテ居ルモノト私ハ認メマス、此程度デナケバヤナラヌト思フデアリマス、然ルニ其倍額ニモ達スルヤウナ起債ヲ以テ救済事業、財界對策ヲ爲サルト云フコトハ、漢口總理ノ御述べニナラタ緊縮方針ヲ確ニ是ハ破テ居リマス、即チ三年度ノ借替ヲ除キマシテ三億餘萬圓ニ近イモノニナリマス、何處ニ緊縮政策ノ實ガ殘テ居ルデアリマスカ、是ハ至テ漢口總理ノ御述べニナラタコトト違フテ居ルコトデアリマス、即チ緩和ト云フ、地方起債ハ緩和スルト云フコトガ、段々ノ御言葉デアリマシタ、緩和ノ度ヲ越エテ此コトハ膨脹デアリマス、今一ツ井上藏相ノ言葉ヲ以テスレバ不當ノ借金デアリマス、不當ノ借金ハ相成ラヌカシテ、政府ニ於テハ整理緊縮ノ一線國民ニ望ムデアアル、御言葉ハ誠ニ其通り、適當デアリマス、然ルニ政府自ラ斯ノ如キ不當ノ借金ヲ地方自治體ニ強ヒテ、斯ウ云フコトガ政府自ラガ爲サテ、如何ニシテ財界ノ整理ガ出來ルデアリマスカ、政府ノ爲サルトハ國民一般ノ模範デナケレバナラヌデアリマス、斯ウ云フ次第デアリマスルガ故ニ、政府ノ爲サルトハ、中央ニ於テハ、十四億餘萬圓ノ豫算ヲ作テ緊縮セラレタデアリマス、地方ガ斯ノ如ク一面ニ於テ膨脹シ、一面ニ於テ擴大シ、何ニモナラヌ仕事デアルト考ヘル、ソレカラ茲ニ特ニ申上ダタイコトハ、採價ノ對策デアリマス、是ニ付キマシテハ農林大臣ハ確カニ御苦心ヲナサテ居ルデアリマス、昨年ハ非常ニ豐作デアリマシタガ爲ニ、財界ノ不況ト相伴ヒマシテ一石ニ付テ米價十圓以上モ下落シタデアリマス、是ノ對策ヲ御

苦心ニナルコトハ當然ノコトデアアル、而シテ其對策トシテドウ云フ事ヲ爲サタカト申シマスレバ、政府ノ所有米ヲ海外ニ賣却セラレ、米ノ關稅ノ障壁ヲ高メ、輸入ノ制限期間ヲ延長セラレタ、ソレカラ朝鮮ヨリ移入スル所ノ米ニ制限ヲ加ヘテ、内地米ノ出廻リヲ調節イタシマスル爲ニ道府縣ニ三千万圓ノ低利資金ヲ融通イタシマシテ、農業倉庫ニ穀及玄米ヲ貯藏イタス、此事ニ付テハ其他罹災救助基金等及地方産業組合、是等ヲ督勵イタシマシテ、農林大臣ハ大ニ努メラレタノデアリマス、此御努メニナタコトハ誠ニ結構ナコトデアリマスルガ、遺憾ナガラ結果ガサツパリ擧テ居ラヌノデアリマス、昨年、當時ニ於キマスル所ノ世中ニ報道セラレタ所ニ依リマスレバ、政府ハ二百万石ヲ買上ケテ居リマスガ、政府買上米ト加ヘマシテ一千万石モ調節出來ルト云フ事ガ當時ノ世中ニ報告セラレタ所デアリマス、勿論政府御自身ガ報告セラレタルニアラズシテ、新聞紙等ニ於テ廣ク傳ヘラレテ居ル、所ガ實際ノ結果ハ本年ニ於テハ八百万石位ハ調節シナケレバナラヌモノガ、所謂端境期マデニ強制貯藏イタシマシタ所ノモノハ穀四百萬石、即チ米ニ致シマシテ二百万石ナニガシニナツテ居ルニ過ギマセヌノデアリマス、任意ニ貯藏イタシマシタモノハ數百万石アルト云フコトデアリマス、是ハ毎年ノ事柄デアリマシテ、本年特ニ出來タ結果ト云フモノハ、右申上ガマスル程ノ四百萬石ニ過ギナイ、サウスレド云フト御苦勞ハ爲サツパデアリマスケレドモ、結果カラ言ヘバ二百万石位ノ強制貯藏ニナルノデス、到底米價ヲ調節シテ行クコトハ難イ事デアリマス、是故ニ政府ガ二百万石ヲ昨年ノ暮ニ御買上ゲニナリマシタケレドモ、效果ハ極メテ薄弱デアリマシテ、却テ其日ヨリ米價ガ漸落シテ行クト云フヤウナ皮肉ノ結果ガ現ハレテ居ルノデアリマス、一體此米ニ對スル對策ハ數量

ノ調節モ勿論デアリマスケレドモ、ソレハ米價ヲ調節イタシマスル原因デアリマスルカラ、是ハ大切デアリマスルガ、矢張り米價ヲ調節スルト云フコトガ窮極ノ目的デナケレバナリマセヌ、此事ハ當然ナ事デアリマス、然ルニ農林大臣ハドウ云フ意味デアリマスカ、米價ヲ調節スル其コトニ付テハ御述べニナラナイノデアリマス、是ハ絲價安定補償法ヲ出動セシメテ千二百五十圓ヲ以テ一捆ノ價ト致シマシテ、十五萬捆ヲ貯藏シタ結果ガ生絲ハ非常ニ下落シテシマツタ、到底最早、價ヲ維持スルコトガ出來ナイ狀況ニアツタ所カラ、價格ノ調節ノ困難ナ點ニ付テ、ドウ御考ヘニナツテモ、是ハ其コトニ多少顧ミラレテ、米價ノ調節困難デアルト云フ御氣分デアアルモノト思フノデアリマス、地方長官ノ會議ニ於キマシテ數量ノ調節ヲ主眼トスルト云フ御言葉デアツテ、米價ノ價格ニハ及ンデ居リマセヌ、更ニ米穀委員會ノ一委員ガ今日ノ米價ハ何程ヲ以テ農林大臣ハ適當ニ考ヘラレルカ、ソレニ付テ國營ノ開墾ニ付テハ一石三十五圓ノ排水開墾助成等ニ付テハ二十八圓、自作農ニ付テハ二十五圓ト云フ米價ヲ以テ施設サレテ居リマスルノデアリマス、ドウシテモ此農林省ノ米ニ對スル對策ニ付テハ、或價格ト云フモノヲ腹案ニ置カナイ限リト云フモノハ出來ナイ話デアリマス、既ニ今日米價ガ二十圓以下ニ下ツテ居リマスト云フコトハ、是マデ農林省ノナシタ施設ト云フモノハ遂行不可能ト申シテモ宜イヤウナ狀況ニ陥テ居ル、是ハ誠ニ困タコトデアルト私ハ考ヘマス、是故ニ農林大臣ハ今日何程ノ價格ヲ適當トスルヤニ付テハ、其際ニ御答ヲ致シテ居ラレヌノデアリマス、次ニ此補償對策デアリマス、即チ補償對策デアアル、之ニ付キマシテハ私ハ何等ノ施設モナサラナイト云フヨリ外ハナイト思フノデアリマス、曩ニ申上ガマシタル如ク絲價法ヲ出動セシメテ一ツノ效ガ

ナイ、當時ノ絲價ハ千五百圓臺ヲ割テ居ル、ソレニ拘ラズ政府ハ千二百五十圓ト云フノデ、絲價ヲ維持シヤウトシタノデアリマス、是ハ誠ニ無謀ナ對策デアルト思ヒマス、其當時ノ絲價ニ於テ維持スベキガ然ルベキデアルガ、千二百五十圓ニ之ヲ維持シヤウトナサツタコトハ甚ダ不適當ナコトト考ヘマス、ソレガ爲ニ却テ生絲ガ急激ニ下落シタ結果ニナリ、地方農村ニ於キマシテハ却テ補償ヲ安ク賣ラナケレバナラヌ結果ニ降テシマツタ、ソコデ地方農家ノ補償ニ對スル關係ニ於テドウ云フコトヲナサツタカト言ヘバ、取引ノ改善ト云フコトヲ企テタ、其外一、二ノコトハアリマセウケレドモ、何等ノ效ガナイノデアリマス、斯ノ如ク觀察シテ參リマスルト云フト、政府ノナサツタ商工ニ對スル對策、農村ニ對スル對策、全ク見ルベキモノガナイノデアリマス、デ第一ノ低利資金ニ付テハ千六百萬圓、七千萬圓ノ農村ノ資金ハ今日實際ニ國民ノ手ニ渡テ居ラナイ、米價對策ニ付テハ價格ヲ一モ維持スルコトガ出來ナイ、全ク當時下落シタ儘デアリマ

ス、補償對策ニ至テハ只今申シタ通り、斯ノ如クニシテ政府ノ對策ハ有效適切ナルモノガナイノデアリマス、其結果トシテ此處ニ失業問題ガ益々滋クナツテ來テ居ルノデアル、政府ニ於テハ失業問題ニ付テハ國勢調査ヲ昨年十月イタシマシタ結果、國勢調査ノ失業人員ハ三十二萬人ニナツテ居リマス、社會局ノ失業ノ推計ハ三十九萬八千七百モアリマシタケレドモ、先ヅ三十七萬八千七百モアリマシタケレドモ、ソコデ社會局ガ今日マデ推定數ヲ出シタモノヨリモ、國勢調査ノ數ガ少ナイ、斯様ナ所カラ内務大臣ハ非常ニ樂觀セラレテ御言葉ヲ以テ、世間デハ失業問題ハ益々深刻ニ其數ヲ増加スルト云フケレドモ、國勢調査ノ結果ハ斯ノ如クデアツテ、世間ノ言フコトハ非常ニ過大ナル、此事實ガ雄辯ニ證明シテ居ルデハナイカ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルノデア

アリマス、是ハ誠ニ私ハ遺憾トスルノデアリマス、政府ガ若モ失業對策ヲ眞面目ニナサラウト云フナラバ、此數ニ付テハモウ少シ慎重ナ態度ヲ御執リニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、國勢調査ノ數ハ成程一人一人ニ當テ作リマシタ數デアリマ

憲八昭和五年ヨリ昭和八年ニマデ行テ居  
リマス、ソコ其計畫シタル事業費ハ九千  
三百萬ニ及ビ、努力費ハ一千二百萬ニ及  
ンデ居リマス、而シテ五年度ニ於テハ事  
業費ハ五千一百萬圓、其努力費ハ一千三百  
萬圓デアリマシテ、救済スル所ノ延人員ハ  
七百七十萬人ニナリテ居リマス、之ヲ一日  
ドレダケノ數ガ救済セラレタカト云フコト  
ニナリマスレバ、勞働者ハ二百日ヲ以テ一  
年働ク時トスルカ、二百五十日ヲ以テスル  
カト云フニ付テ大變ナ差ガ出來ル、先ヅ二  
百日ヲ以テ考ヘテ見マシテモ、是ダケノモ  
ノデハ三萬前後ノ者ホカ救済出來マセヌ、  
社會局ニ於テ昨年發表シタモノニ於テ、昨  
年ノ十一月ヨリ本年ノ三月マデニ救済サレ  
ル所ノモノハ二萬三千人、若クハ二萬七千  
人ト云フコトガ發表セラレテ居リマス、  
ソレカラ尙ホ此東京、横濱ノ事業ト致シマ  
シテ、昨年ノ十二月カラ本年ノ三月マデニ  
成シ遂ゲマスル事業ガ、國費三百萬圓ヲ出  
シテ救済事業ガ行ハレテ居リマス、ソレニ  
依テ救済スル人ノ數ハ六千人位ニナリテ居  
リマス、サウ致シマスルト云フト、三萬數  
千人ノ者ハ救済サレテ居ルノデアリマス、  
此點ニ付テ安達内相ハ衆議院ニ於テ四萬一  
千人ガ救ハレテ居ルト、斯ウ云フ御説明ニ  
ナリテ居リマス、併シ五年度ノ事業ハ必ズ相  
當ナル部分ハ六年度ニ繰越サレルノデアリ  
マス、ソレハ四年度ノ事業カラ見テモ明カ  
デアル、是故ニ其繰越サレル事業ヲ除ケマ  
スルト云フト、矢張り三萬何千人ニ止マル  
ノデアリマス、サウ致シマスルト、ドノ途  
ノデアリマス、殊ニ日傭勞働者ハ今日  
十七萬位ゴザイマスルノデアリマス、ソレ  
ニ對シテ考ヘテ見マスト云フト、四年度ニ  
於テ行ハレタル所ノ救済事業ト、特ニ目立  
テ進歩シテ居ルト云フコトハナイノデアリ  
マス、ソレカラ官公營事業ヲ調節セラレタ、  
是ハ相當ニ致サレテ居ルヤウデアリマス、

是ハ四年度ト何モ變リマセヌ、同ジコトデ  
アリマス、ソレカラ今一ツ職業紹介ノ事業  
デアリマス、是ハ五十八議會ニ於テ數萬圓  
ノ豫算ガ通過イタシマシテ、職業紹介局ガ  
東北一ツ出來テ居リマス、是ダケノコト  
デ、而シテ地方職業紹介所ハ三十殖エテ  
居リマス、今日ハ職業紹介所ハ全國デ三百  
位アルノデアリマス、併シソレ僅ニ三十  
位、或ハ事務局ガ一ツ殖エタト云フ位ノコ  
トデ、別ニ五年度ニ於テ學グベキモノハナ  
イノデアリマス、私ハ此職業紹介事業ト云  
フモノハ、斯ウ云フコトデヤ到底イカヌト  
思フノデアリマス、職業紹介所ノ當路者ノ  
考ニ依リマスレバ、是ハ是非共國營ニシナ  
クチャナラナイ、更ニ又國營ニシナイマデ  
イ、斯ウ云フヤウニ言ハレテ居ルノデアリ  
マス、然ルニ安達内相ハ此事ヲヤカマシク  
言ハレテ居ルニ拘ラズ、少シモ之ニ對シテ  
熱心ニ施設ヲナサラスノデアリマス、本年  
ノ豫算ヲ見マシテモ、矢張り五六萬ノモノ  
ガ計上サレテ居ルニ過ギマセヌノデアリマ  
ス、職業紹介ハ私ガ申上ゲル迄モナク、今  
日ハ極ク低イ勞働者、其他ノ者ノ紹介ニ過  
ギマセヌケレドモ、今日就職難ノ聲ノ高  
マテ居ル時代ニ於キマシテハ、モツト職業  
紹介施設ヲ高尙ナルモノニシテ、何人ト雖  
モ職業紹介所ノ手ヲ經テ行カレルヤウニ施  
設セラレル、サウ致シマスルニハ兎ニ角二  
百萬前後ノ費用ト云フモノハ要ルモノト考  
ヘマス、サウ云フ風ニシテ此施設ヲナサル  
ト云フコトガ、今日ノ如ク就職難、失業ノ  
時代ニ於テハ是非共必要ナルコトト考ヘラ  
レマスルニ拘ラズ、誠ニ此點ニ付テモ熱心  
ニオヤリニナラスノデアリマス、而シテ此失  
業問題ニ付キマシテハ、私ハ前議會ニ於テ、  
斯ウ云フコトハ元來社會局ノ一部ノ問題デ  
アタモノガ、今日政府ニ於テ之ヲ論ジ、國  
家ノ政治上ノ重大問題トナツタコトハ、誠ニ  
遺憾ノコトデアアルト云フコトヲ申上ゲタノ

デアリマスルガ、今日ハ此失業問題ヲ益  
高唱セラレマシテ、總理大臣ノ施政方針ノ  
御言葉ノ中ニモアリマスルシ、又更ニ井上  
藏相ニ於テモ、失業問題ハ重大ニナリテ居  
ル、斯ウ云フ御言葉デアリマス、而モ總理  
大臣代理及井上藏相ニ於テハ、失業者ハ増  
加シテ今日ハ非常特別ノ際デアリ、仍テ國  
家ハ公債ヲ以テ之ガ對策ヲ講ジナケレバナ  
ラナイト云フ御言葉デアリマス、是ハ安達  
内相ノ減少ハンナイガ激増モシナイト云フ  
御言葉トハ餘程趣ガ違テ居リマス、政府ノ  
考フル所ヲ公債政策ト云フ方面カラ行ケバ  
非常特別ノ場合ト云フ言葉ヲ以テシテ、之  
ニ反シテ失業救済ノ方面ノ言葉ヲ用キマス  
ル時ニハ、失業者ハ減少モシナイ殖エモシ  
ナイト云フ御言葉ヲ用キル、全クココハ使  
ヒ方ガ右左ニナリテ居リマス、殊ニ私ハ茲  
申シテ見タイゴトハ、失業ト云フコトハ決  
シテ是ハ良ノ問題デハナイノデアリマス、  
罪人ト云フ問題ガ國家ノ一番暗黒面デアリ  
マセウ、之ニ次グ所ノモノガ、私ハ失業問  
題ダト思ヒマス、罪人モ十分活動能力ガア  
テ、其活動能力ガ惡イ方へ使フ、失業者ハ  
活動能力ガアテ、……仕事ヲスル所ノ即チ  
勞働能力ガアテ、サウシテ仕事ガナイト  
云フモノガ失業者デアリマス、是ハ即チ社  
會ノ暗黒面カラ申シマスレバ、罪人ニ續イ  
タ所ノモノダト私ハ思フノデアリマス、ダ  
カラ斯ウ云フ問題ハ、餘リ各方面ニ之ヲ使  
テ行クト云フコトハ私ハ宜クナイト思ヒマ  
ス、然ルニ現内閣ニ於テハ、總テノ重要ナ  
政策ニハ皆失業ト云フコトヲ言ハレコト  
ガ、私ノ最モ遺憾トスル所デアリマス、何ガ  
故ニ失業ト云ハナケレバナラヌノデアリマ  
セウカ、失業ト云ハナケレバ……公債ヲ募  
集セラレテ國道縣道ヲ改修スルト云フコト  
ニ付テ、何ガ故ニ失業ト云ハナケレバナラ  
ヌノデアリマスカ、又七千萬圓ノ低資ヲ農  
村ニ融通セラレルコトニ付テ、失業救済ダ  
ト云フ言葉ハ要ラス言葉ダト私ハ思フノデ

アリマス、ソレヨリモ失業防止ト云フ方ヘ  
立テ、失業救済ニ非ズシテ、失業ノ防止デ  
アルト云フ立前ニ、立ツコトガ當然デアラウ  
ト思フノデアリマス、ソレハ濱口總理ガ前  
議會ニ於テ繰返サレテ居ル所デアリマス、  
其意味カラシテ内務省ニ於テ、最初ノ失業  
救済委員會ハ失業防止委員會ト變テ居リ  
マス、ソコハ私ハ誠ニ結構ダト思ヒマスガ、  
然ルニ爲サレテ居ル所ノ事ハ、各種ノ重要政  
策ニ失業救済ト云フ御言葉ヲ御用キニナ  
ル、是ハ後ノ政治史ニ於テ、現内閣ハ失業  
内閣デアアルト云フガ如キコトニナリマシ  
テ、私ハ最モ之ヲ遺憾トスル一人デアリマ  
ス、況ヤ失業ノ救済ト云フコトハ、救済サ  
レル者ノ依頼心ヲ助長イタシマシテ、今  
日デハ世ノ中ニ自分ノ親ハ失業者デアリマ  
スルカラ、救済ヲ願フト云フコトヲ言ウテ  
歩ク者ガ出來テ來ルヤウナ狀況デアリマ  
ス、世道人心ニ甚ダ宜クナイ影響ヲ與ヘル  
モノデアアルノデアリマス、之ヲ政府ノ重大  
政策ニ當ニ御用キニナルト云フコトハ、誠  
ニ適當ナイト考ヘマスル、斯様ナ次第デ  
アリマシテ、政府ノ財界ニ對シマスル對策、  
失業ニ對シマスル施設、總テ適當ヲ缺ク結  
果トシテ、今日ノ國民生活ハ極度ニ不安ニ  
陥テ居ルト私ハ考ヘマス、デ政府ニ於テモ  
勿論此事ニ氣ガ付カレテ居リマシタ結果、  
何トカシテ適當ナ策ヲ講ズルコトナクン  
バ、昨年ノ暮ヲ越シテ行クト云フコトト云  
フモノハ、中ノ難儀デアアルト、斯ウ御考ヘ  
ニナツタ結果トシテ、茲ニ井上藏相ハ金融  
ノ方面ニ種々ナル施設ヲセラレテ居ルノデ  
アリマス、ソレハ昨年ノ特別議會ノ際ニ於  
キマシテハ、預金ガ増加イタシマシテ貸出  
ハ減少シテ居、タノデアリマス、然ルニ昨年  
ノ暮カラ今日ニ至ル事情ハ、預金ガ激減イ  
タシテ居リマス、而シテ貸出ハ可ナリ増加  
イタシテ居リマス、殊ニ郵便貯金ノ利下ヲ  
致シマシテ、貯蓄銀行ニ資金ヲ吸收イタサ  
セテ、ソレデ貸出ノ策ヲ御取リニナリマシ

タ結果、昨年ノ十一月ニ於テ貯蓄銀行ノ貸出ハ、前年同期ト比較イタシマスルト七八千圓ノ増加ヲ來シテ居リマス、所ガ普通銀行ノ貸出ハ、是ハ當議場ニ於テモ既ニ述ベラレタル所ノ、普通銀行ノ休業銀行ガ現内閣成立以來二十數行出來テ居リマス、普通銀行ノ金融狀態ト云フモノハ、誠ニムツカシイ問題ニ今日ハナッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、普通銀行ハ自ラ警戒ヲシテ貸出ヲ致サヌノデアリマス、是故ニ昨年十一月ノ狀況ニ於キマシテハ、前年同期ト比較イタシマスレバ、二億六千萬圓貸出ガ減少シテ居リマス、此事ガ重大ナ關係デアリマス、普通銀行カラ二億何千万圓ト云フ貸出ガ一年ノ中ニ減少シテ居リマスレバ、財界ハ金融難ニ陥ルコトハ當然デアリマス、此儘放置スルト云フト、昨年ノ暮ハ容易ナラヌ状態ヲ惹起スル、而モ普通銀行ニ向テ貸出ヲ慫慂スルコトハ困難ナリニナリマシタカラ、茲ニ於テ井上藏相ハ特殊銀行ヲ活動セシメテ、若クハ中央ニ於ケル有力ナ銀行關係ニ手ヲ伸バシテ、サウシテ其補填ヲ致シテ居ルノデアリマス、特殊銀行ノ貸出ハ二億七八千万圓、前年同期ニ比較シテ昨年十一月増加イタシテ居ルノデアリマス、即チ普通銀行ノ方ハ所謂政府ノ緊縮政策當然ノ結果ヲ承ケテ「入ルマル」ニ行テ居リマス、其通りニ行テ居ル、是ハ當リ前デアアル、ソコデ特殊銀行ヲ活躍セシメテ丁度同ジ位ノ額ヲ貸出シテ居ル、ソレ故ニ興業銀行ノ問題ト云フモノガ喧シクナルノハ當然デアリマス、是ハ如何ニ井上藏相ガ御辯明ニナッテ所デ、其事實ハ雄辯ニソレヲ説明シテ居ルノデアリマス、ソレデアアルカラ其點ハ確カニ此濱口首相ノ緊縮方針ノ意味トハ逆行ヲシテ居ル、何トシタ所デ……、藏相ハ常ニ言ハレマス、事業ガ有望デアッテ、資金ニ困テ居ルノニ貸スノハ當リ前デアハナイカト、ソレハ當然デアリマス、緊縮方針ト云フ原則ヲ御取リニナッ

タカラ、ソレガイケナイト云フノデアリマシテ、其原則、其主義ヲ御取リニナラヌナラバ、當然ノコトデアリマス、貸付ケテ事業ヲ盛ニシテ行クト云フコトハ當然デアリマス、ガカラ其言葉ダケヲ聽キマスト云フト、ソレハイカヌ、ソノナ事ヲシテハイカヌト云フコトハ言ヘナイヤウニ感ジマス、併シ其根本的ニ主義ト對比シテ來マスト云フト、是ハ甚ダ不都合デアリマス、即チ普通銀行ノ金融ノ動キガ最モ政府ノ主義方針ト一致シテ居ル、故ニ特殊銀行ヲ活躍セシメテ、其變々トコトヲ致サレタノデアリマス、斯ノ如クシテ預金ハ一面ニ激減シテ居ルニ拘ラス、政府ハ貸出ヲ増加セシメ、其外ニ昨年ノ暮カラ今年ニ掛ケマシテ、兌換券ハ最高度ノ時ニハ十五億圓ニナッテ、昨年ノ後半期ヲ見マスト云フト十億圓デアッテ、ソレガ十二月ニナリマスト云フト、平均十億圓ニモナッテ、サウシマスト云フト、茲デモ矢張り二億近イ金ガ金融界ニ持出サレタコトニナル、其他政府ガ低利資金ト云フモノ融通サレタ額モ一億デアアル、其一億、銀行ノ貸出及兌換券ト云フモノヲ加ヘマスト云フト、是ハ何ト申シマシテモ、數億圓ト云フモノガ經濟界ニ置カレテ居ル、流通ニ置カレテ居ル、數億圓ノ金ガ經濟界ニ流通ニ置カレテ居ルコトハ、是ハ最早緊縮時代デモ何デモナイノデス、ソレヲ井上藏相ハ言葉ヲ巧ミニ良キ事業ガ出來タナラバ、見込ノ立ツ所ノ事業ニ金融ヲシテヤルト云フコトハ當然ダト言フノデアアル、若クハ之ニ類スル言葉ヲ以テ此資金ノ目的ヲ達成スレバ宜シト……平時デアリマスレバ勿論デアリマス、然ルニ緊縮ト云フ政策ヲ御取リニナッテ以上ハ……四年度ノ年度末ニ於テハ「ノルマル」デアアル、四年度ノ年度末ニ於ケル、若クハ其近イ時ニ於ケル狀況カラ、只今申上ゲマシタヤウナ非常ナ差ヲ生ジテ居リマス、勿論兌換券ハ一月ニ入ッテ收縮イタシテ居リマスケレドモ、其他ノモノハ

依然トシテ其通り、是ガドウシテ膨脹デナイト言ヘルゾデアリマセウ、インフレーションニテ來シテ居ルコトハ確カデアアルト私ハ申上ゲテ置キマス、藏相ハ専門家デアリマスガ故ニ、言葉ハ重イノデアリマス、藏相ノ言葉ヲ世間ガ聞ケバ、成程サウデアアルト感ジマセウ、感ジマセウケレドモ、此事實ハ雄辯ニ緊縮政策ト云フモノトハ相反對シテ居ルト云フコトヲ私ハ申上ゲルノデアリマス、而モ不渡手形ノ増加ト云フコトガ、是ガ財界ノ惡化シテ居ルト云フコトノ極メテ明瞭ナ證左デアアル、東京手形交換所開設以來ナイ所ノ不渡手形ノ數トナッテ居リマス、是ガ確ニ財界ノ不況ヲ物語ルモノデアアル、其上ニ更ニ財界ノ消長ヲ見ル所ノ鐵道ノ運輸狀態デアリマス、一昨年ニ比シマシテ旅客ノ數ニ於テ二千五百万人ヲ減ジマス、貨物ニ於テ七百五十万噸ヲ減ジテ居ルノデアリマス、之ニ加フルニ會社ノ解散數ハ増加シ、株式會社ニ於テモ七百以上ニナッテ居リマス、工場ノ閉鎖數……廢休業ニナリマシタル數ハ、昨年後半期ニ於テハ順次ニ増加イタシテ居リマス、其上ニ破産ノ事件ガ餘程殖エテ居リマス、殊ニ之ヲ總括シテ見ベキ所ノ有價證券ノ値下リハ、現内閣組閣以來五十九億圓、昨年ノ十月、即チ最モ株券ノ低カッタ……最近ニ於テ低カッタ時ニ於テ、五十九億圓ヲ減ジテ居ルノデ、最モ關係ノアリマスル所ノ小賣相場ト云フモノハ……卸賣相場ニ於テハ昨年一年ダケデモ二割ヲ低落シテ居リマスケレドモ、小賣相場ハ其割合ニ安クナッテ居ラヌノデアリマス、ソレカラ又國內ニ於テ用キマス所ノ國內商品ハ國際商品カラ見マスルト値下リガ矢張り少イノデアリマス、斯様ナ次第中小産業者ノ生活ト云フモノハ豫想外ニ今日ハ困難ニナッテ居リマス、此點ニ付テ一家庭中ヲスル數ガ頻々トシテアルシ、ソレカラ又家屋ノ明渡ト云フモノガ、其數ガ非常ニ増

加イタシテ居リマス、又最モ忌ムベキ犯罪ニ益、増加イタシテ居リマス、斯カル場合ニ於テ救護法ヲ實施シテ、適當ノ策ヲ講ズベキデアアルニ拘ラス、失業ト云フコトニ付テハ非常ニ熱心ニ唱ヘラレ、其實ハ私ノ申上ゲル通りニ實績ハナイノデアリマス、然ルニ救護法ニ付テハ今日ニ至ル迄ハキリトシタ政府ハ態度ヲ御執リニナラヌノデアアル、之ガ爲ニ今ヤ國民ノ生活ト云フモノハ極度ニ惡クナリマシテ、眞ニ現世ノ地獄デアリマス、何故私ガ斯ウ云フ言葉ヲ申スカト言ヘバ、母親ガ其子ヲ殺ス、此ノ剝那ノ感情ト云フモノガ、是ガ涙ナクシテ考ヘルコトガ出來マスカ、而シテ更ニ産兒ノ制限デアアル、産兒制限ト云フモノハ我國ニ於テハ明治以來今日ニ至ルマデ表面ノ問題ニハナッテ居リマセウデシタ、然ルニ今日ハ之ノ産兒制限相談所ニ來ル所ノ婦人ガ四十八パーセント「マデハ、即チ家計不如意ノ爲ニ來ル所ノ者デアアルト云フコトヲ見マスル時ニ、私ノ申上ゲタ此世ノ地獄デアアルト云フコトハ決シテ當ラナイトハ申セナイト思フノデアリマス、其上ニ斯ウ云フコトノ結果トシテハ、此不景氣ノ問題ハ今ヤ一變シテ社會問題デアアル、社會問題カラ國民ノ淳風美俗ヲ害シ、道德ヲ破壞スル所ノ程度マデ達シテ居ルト、私ハ考ヘル一人デアリマス、而シテ農村ノ生活ヲ見マスルト云フト、先ニ述ベマシタル如ク、施設其宜シキヲ得マセ又結果、養蠶ニ於テ春繭ハ前年ノ半額デアリマス、一貫目三圓何ガシトナッテ居リマス、夏秋蠶ハ三分ノ一ニ止マルノデアリマス、其結果トシテ、農村ノ收入ハ此點ニ於テ三億九千七百萬圓、即チ四億バカリ減少イタシテ居ル、又米價ヲ見マスルト云フト、十圓以上ノ下落デアリマスガ故ニ、自家用ノ三千万石ヲ差引キマシテ、三千數百萬石ガ市場ヘ持出サレル譯デアリマス、其値下リガ矢張り三億數千萬圓ニナッテ居ルノデアリマス、之ニ副業等ノ農産物ヲ加ヘマス

ルト云フト、ドウシテモ農村ノ收入ト云フ  
モノハ十億圓ハ減少イタシテ居ルノデアリ  
マス、農村ノ收入ガ三四十億デアル所ノモ  
ノガ、十億圓減ジタラバ、農村ノ生活ガ  
立行カナイハ、是ハ當然デアルト思フ、果  
セルカハ農村ノ負債ト云フモノハ一年ノ間  
ニ八億圓増加イタシテ居ル、今日農村ノ  
負債ハ四十八億ト云フ、或ハ五十億ト云フ、  
一家ノ負債ハ先ヅ八九百圓デアルト言ハレ  
テ居ルノデアリマス、ソレガ一年ノ間ニハ  
德國ノ負債ヲ増加スルニ至ラト云フコト  
ハ、最も是ハ注目スベキ私ハ一輩デアルト  
考ヘルノデアリマス、此點ニ於テモ私ハ井  
上藤村ノ御著書ニ付テ申上ゲタイ、斯ノ如  
ク莫大ナル借金方出来マシタルコトニ付  
テ、是ハ政府ノ御執リニナシテ緊縮政策、國  
民ハ消費節約ヲシテドモ迄モ勤儉力行シテ  
居ル間ニ、斯ノ如ク債務ガ増加スルノデア  
リマス、即チ最良ノ借金ニ非ズシテ、贅澤  
ヲ借金ニ非ズシテ、緊縮シテ居ル間ノ借金  
デアアル、此點ハ井上藤村ノ所謂不當ノ借金  
デアルト云フコトハ到底言ヘマイト思フ  
デアアル、藏相ハ口ヲ御開キニナレバ、過去  
ノ財界ト云フモノハ不當ノ借金ヲシテ居ル  
カラ、之ヲ整理シナケレバナラヌノデア  
ルハ強説セラレルノデアリマスガ、此借金ハ  
何ト申シテモ不當ノ借金デアルト云フコト  
ハ申セナイト思フ、斯ノ如キ事情デアリマ  
スルカラシテ、農村ノ借金ハ已ムニ已マレ  
ヌ是ハ借金デアリマス、此上ニ都市カラ歸  
リマスル即チ農村歸農イタシマスル所ノ、  
其者ガ先ニ申シマスル通りニ三十万人ニモ  
及ンデ居ルト云フニ至ラテハ、農村ノ困窮ト  
云フモノハ、是ハ想察スルニ私ハ餘リア  
ト考ヘマスル、是故ニ今日農村ヲ救ヘ  
ト云フ聲ハ全國ノ町村長會議、道府縣農會  
長ノ會議ニ於テモ高ク唱ヘラレテ居ル所デ  
アリマス、誠ニ豐年滿作デアルト云フト、  
昔ハ郷土ノ者ハ非常ニ喜ンデ居デモ致ス  
ルニ、今日ハ郷土祭サヘ出来ナイ状況ニ置

カレテアルノデアリマス、是故ニ全國ニ於  
テ教員ノ俸給ヲ減額スル、或ハ租稅ヲ延納  
スル、若クハ租稅ノ引下ゲヲ求メル、電燈  
ヲ村ケルコトヲ制限スル、斯ウ云フ風ナ  
トガ全國到ル所ニ於テ行ハレテ居リマス、  
殊ニ此教員ノ減俸問題ニ付キマシテハ、長  
野縣ニ於テハ非常ニ惡化イタシマシテ、兒  
童ノ盟林サヘ起キテ居リマス、文部大臣ハ  
此點ニ付テ三回程注意ヲ喚起シテ居リマス  
ケレドモ、全ク其效ガナイノデアリマス、  
斯ノ如クニシテ農村ハ今ヤ支拂猶豫ガ自然  
ニ起キツ、アルノデアリマス、此關係ハ義  
務不履行ノ觀念ヲ増加シテ、權利ニ對スル  
一ツノ對抗狀態デアリマス、租稅ヲ不納シ  
テ參リマスルコトハ、權利關係ニ對抗スル  
事サヘ生ジマシテ、今ヤ國民ノ義務觀念、  
責任觀念ト云フモノハ、コノ所カラ破壊  
ニ導カレツ、アルコトハ、私ノ最も是ハ選  
德トシ、國家ノ爲ニ實ニ重大ナル問題ナリ  
ト考ヘル次第デアリマスガ、斯ウ云フ風ニ  
今日ノ國民ノ經濟的生活ノ問題ハ、今ヤ生  
活自體ガ問題ニナツテ居リマシテ、餘裕ノ問  
題デアナイノデアリマス、是故ニ全く深刻  
ナル労働爭議、小作爭議ガ今日行ハレテ居  
リマス、小作爭議モ激増イタシマシテ、誠  
ニ弱肉強食ノ今日デアリマス、ソコデ労働  
爭議ヲ一瞥イタシマスルコト云フト、昨年ノ  
一月ヨリ十二月迄ニ千八百三十三件ガザイ  
マシテ、其參加人員ハ十六萬人ニ達シテ居  
リマス、昨年ニ比較イタシマスルコト云フト、  
五百六十件以上増加イタシテ居リマス、之  
ヲ過去ニ戻シテ見マスルコト云フト、昭和三年  
ガ一番低クナリ行ク傾向ヲ持チマシテ、四  
年ノ所ハマダ低クナツテ居ル、五年ニナツテ  
増加シテ居ル、ガカラシテ過去ガ増加シテ、  
ソコヘ來テ一ツ斯ウ突キマシテ、ソレカラ  
今度ノ増加イタシテ居ルト云フ傾向ニアリ  
マス、而シテ其理由トスル所ガ全ク此生活  
問題ノ爭デアリマシテ、賃銀ノ低減ニ反對  
スルトカ、退職手当ヲ確立スルトカ、或ハ

休業ノ反對、退職者ヲ復職セシメト云フ  
コトデ、積極的ニ福利増進ノ方面ノ爭ハ今  
日ハ跡ヲ絶テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ  
風ナ形デ、爭議ノ日モ非常ニ引イテ居リ  
マスルシ、殊ニ大企業ニ其爭ガ増加イタシ  
テ居ルト云フコトハ注目スベキ一事デアリ  
マス、茲ニ特ニ私ハ申上ゲタイノハ、爭議ノ  
手段ガ甚ダ宜シクナクナリマシテ、不當不  
法ノ手段ヲ弄シ、左傾戰術ヲ行ナツテ往々  
シテ其直接行動ニ入テ行ク點デアリマス、  
殊ニ工場管理ノ數ハ前議會ノ時ヨリモ増加  
イタシテ三十ヶ所ニ及ンデ居リマス、八時  
間労働ノ如キモ生産制限、操業短縮ニ依  
テ自然ニ是ガ行ハレルヤウニナラト云フコ  
トハ、誠ニ一ツノ特則ナル現象デアリマス、  
最も注意スベキコトハ所謂「ロックアウト」  
ガ昨年ハ四年度ニ比較シテ六倍モ増加イタ  
シテ居ルト云フ、斯ノ如キ事象カラ見マシ  
テ、労働爭議ハ全く惡化イタシタト申上ゲ  
テ宜シイノデアリマス、ソレカラ小作爭議  
デアリマスルガ、此方モ同様ノ關係デアリ  
マシテ、三年度ノ所ガ低クナリツ、アル、  
其前ガ増加シ、今日ハ團體ノ數ガ小作人ノ  
團體モ地主ノ團體モ益、増加イタシテ居リ  
マスル、地主ノ組合ヲ見マスルコト云フト、  
昭和三年ニ於テ六百九十六デアリマシテ、  
四年ハ低クナリマシテ六百五十五、昨年ハ  
九月迄ニ六百四十一ト云フ數ニナツテ居ル  
ノデアリマス、小作人ノ組合モ同様ノ傾向  
ヲ持テ居リマス、デ新様ニシテデス、小作  
人組合ガ増加シ、地主組合モ同様ニ増加シ  
テ、爭議ハ遂ニ團體的ニナツテ、非常ニ危險  
性ヲ帯ビテ居リマス、デ先日府下ノ東淵江  
村ニ小作爭議ガゴザイマシタ、小作人ノ方  
面ニ於テハ百人程デ、警官ガ五十名、地主  
ノ擁護團ガ出テ、入亂レテ等々状況ハ、新  
聞紙ニモ出テ居リマシタガ、誠ニ危險ナ状  
況デアリマス、斯ウ云フ制度、斯ウ云フ結  
果ト致シマシテ國民ノ生活ガ誠ニ不安ニ  
ナツテ、恒産サケレバ恒心サシト云フヤウカ

コトカラシテ、思想ニモ惡影響ヲ來シ、所  
謂此自暴自棄的ノ行動ニナツテ居リマスル  
デ、社會ハ非常ニ危險ニナリマシテ、若シ  
國民ガ、斯様ナ極端ナル生活狀態ニナツテ來  
タト云フコトハ、現個度ガ適當テナイト云  
フコトヲ考ヘルヤウニ若シナリマシタラ  
バ、此結果ト云フモノハ誠ニ由々シキ大事  
デアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近時赤  
化思想ニ禍サレテ居リマスル所ノ我國ハ、  
最も注意シテ、今日ハ之ニ臨マナケレバナ  
ラヌト私ハ考ヘマス、デ不景氣ノ爲ニ益、  
惡化シテ、而シテ此赤化ノ禍ト云フモノガ  
到ル所ニ現ハレテ居リマシテ、極左ノ團體  
ト云フモノガ、最初ニ於テハ善法ニシ  
テ内面ニ不法團體ヲ含シテ居リマシタ  
スガ、今日ハ表カラ之ヲ不法ノ團體トシテ  
構成サレ、而シテ所謂方向ヲ轉換シテ直接  
行動ヲ爲スニ至リ、今日露西亞ニ於キマシ  
テハ地方農民ニ至ル迄「レニ」主義ヲ貫徹  
シテ、而シテ富農ヲ驅逐シテ居ルト云フ狀  
況ニ、今日ハ産業五年計畫ノ結果トシテナ  
テ居リマス、支那全土ニ於テモ赤化思想ト  
云フモノガ蔓延シテ居ル今日、全く是ハ注意ヲ  
シナケレバナラヌニ拘ラズ、誠ニ遺憾ナガ  
ラ今日ハ我國ニモ茲ニ指摘シナケレバナ  
ラヌヤウナ事件ガアルノデアリマス、川崎ノ  
「メーデー」ノ騷擾事件、アレハ全く此極端  
ナル……竹槍ヲ八十本モ持テ行クト云  
フヤウナコトデ非常ニ過激ナ事件デアリマ  
ス、ソレカラ大津ニ於ケル電報ノ騷擾事件、  
京都ノ看護婦ガ騷擾シタ事件、關西ノ看護  
婦ノ聯合事件、京都ノ刑務所ニ於ケル事件、  
其他ノ「ストライキ」ニ依ツテ、裏面ニ於テハ  
此左傾氣分ガ策動イタシテ居ルノデアリマ  
ス、殊ニ最近新聞紙ニ於テ出テ居リマス所  
ノ「給仕ノ陰謀、外務省ノ赤イ手、細胞ノ種  
付ト共ニ外交ノ機密ヲ搜ル」給仕ガ其中ニ  
活躍シ、雇員トモ關係ガアツタト云フコトガ  
其中ニ書イテアリマス、外交ノ機密ニ迄斯  
クノ如キコトガ入レテ現ハレテ居ルコト

ハ、是コソ深甚ノ注意ヲ拂ハヌケレバナラ  
 ヌ事態ト考ヘマス、其上ニ教育ノ範圍ニ  
 スカル思想ガ及ビマシテ、從前ニ於テハ社  
 會科學研究ト云フ程度ニ止マツテ居リマシ  
 タ、思想ヲ毒セラレタニ止マツテ居リマシ  
 スガ、今日ハ一步ヲ進メテ其實行ニ入リテ居  
 リマス、少クトモ彼等ノ行動ハ斯カル結果  
 ニ對スル豫行演習トシテ企テ居ルコトハ  
 明カデアリマス、茲ニ於キマシテ文部大臣  
 ハ學務部長會議ニ於テ斯様ニ述ベテ居リ  
 マス、學生生徒ノ思想問題ハ近來其關係ス  
 ル範圍益々廣汎トナツテ、其運動方法ノ如キ  
 極メテ實際的トナリ、一般ニ惡化シ來、タヤ  
 ウナ傾向ガアル、且ツ從來ハ大學ノ學生、  
 高等學校、專門學校ノ生徒ニ限ラレテ居ル  
 狀況ニアツタガ、近時ハ中等學校ノ生徒ノ  
 中ニモ往々事件ノ發生ヲ見ルニ至リタコト  
 ハ誠ニ惡心ニ堪ヘザル所デアアル、文相ノ  
 御言葉通りデアリマス、今日學校ノ思想  
 運動ハ最早單純デハナイノデアリマシテ、  
 外部ノ勞働運動ト聯絡ガアリマス、勞働運  
 動ニ似タト文相ハ仰シヤツテ居リマス、勞働  
 運動ト聯絡ガアル迄ニ進ンデ、學校内ニ於  
 テ露西亞革命ヲ記念スルト云フガ如キ行動  
 ガアリマス、彼等ハ讀書研究會ヲ造リテ校  
 内ニ細胞ヲ植付ケテ居ルノデアリマス、斯  
 ウ云フヤウナ事態デ全ク今日ノ學校ノ騷動  
 ト云フモノハ單純ナモノデハナイノデアリ  
 マス、果セル哉皆サシ御承知ノ如クニ新聞  
 紙ニ見エル所ニ依レバ、ドノ學校ノモノデ  
 モ、騷動ガ始マルヤ直ニ器物、硝子窓其他  
 ヲ破壊スルノデアリマス、斯ウ云フコトハ  
 會テ無イ狀態デアアルノデアリマス、デ私ハ  
 此不景氣ハ國民ノ生活ヲ脅威シテ社會不安  
 ヲ生ジ、其結果トシテ國民ノ氣分ガ不安ニ  
 置カレテ居ルガ故ニ、斯カル行動ヲ企テル  
 者ガアリマシテモ、ソレニ對スル注意、思  
 慮ト云フモノガ國民ノ間ニ非常ニ虛弱ニ  
 ナツテ來テ居ルト思ヒマスカラ、今日ハ速ニ此  
 生活問題ニ對シテ對策ヲ講ジマシテ、國民生

活ヲ安定シテ、國民ガ斯カル社會ノ忌ムベ  
 キ事象ニ向テ正視スル、正シク之ヲ見テ行  
 ク所ノ力ヲ與ヘルヤウニシナケレバ私ハナ  
 ラヌト思フノデアリマス、若シ此様ナ狀況  
 ニ置カレテ不安デアアルナラバ、斯ノ如キ社  
 會事象ニ對シテモ全ク神經ガハッキリ働カ  
 ヌヤウニ陥ルノデアリマス、故ニ今日ニ於  
 テハ速ニ此對策ヲ講ジナケレバナラヌノデ  
 アリマス、拘ラズ、政府ノ明年度ノ豫算  
 ヲ見マス、失業公債ノ三千五百五十萬  
 圓、其外九百萬圓ノ減稅、其他二三細カナ  
 モノハ竝ベテアリマスルケレドモ、殆ド見  
 ルベキモノガナイ、而モ十四億萬ト云フ豫  
 算ノ中ニ、此深刻ナル不況ノ對策其モノガ  
 含ンデ居ルト云フコトハ到底考ヘラレナイ  
 ノデアリマス、然ラバ政府ハ如何ニ之ニ臨  
 ムカト言ヘバ、地方ノ團體ヲ活躍セシメテ  
 中央デ爲スベキ何億ノ事業ヲサシメルト  
 カ、或ハ銀行ヲ獎勵シテ政府ノ爲スベキ處  
 ヲ爲スト云フヨリ外ニハナイ、而シテ私ハ  
 茲ニ申上ゲタイ、前述ノ如クシテ財界ニ通  
 貨ヲ膨脹セシメテ行クト云フコトハ、會テ  
 ノ十七億ノ豫算ノ時ト何モ結果ニ於テ變リ  
 ハナイ、ソレガ地方團體ノ義務ニ屬スルモ  
 ノデアアラウガ、或ハ個人ノ金デアリマセウ  
 ガ、ソレハ同ジコトデアアルト言ハナケレバ  
 ナラヌ、國民經濟カラ申シマシテ其差別ヲ  
 見出スコトガ出來マスカ、國家ノ財政ハ十  
 四億デアリマスカラ、ソレハ非募債主義ノ  
 政策ニ合テ居リマセウガ、所謂緊縮政策  
 ト云フモノハ全ク破レテ居ルト言ハナケレ  
 バナラヌノデアリマス、緊縮政策ト云フモ  
 ノガ即チ現内閣ノ使命デアリマス、是ガ事  
 實ニ於テ斯ノ加ク裏切ラレテ行ク、而モソ  
 レ等ノ方法ハ井上藏相ノ所謂臨機應變ノ處  
 置ニ過ギマセヌノデ、眞ノ對策デハアリマ  
 セヌ、之ヲ以テハ國民ノ生活ノ改善ハ矢張  
 リ出來マセヌノデアリマス、ソレデ政府ノ  
 明年度ノ豫算ハ、到底財界ノ對策トシテ不  
 十分ナリト私ハ考ヘマス、而シテ尙ホ此失

業公債ノ政策ニ付キマシテハ井上藏相ハ昨  
 年關西ノ實業大會ニ臨ミマシテ、公債政策  
 ヲ執ル伏線ヲ張リテ居リマス、其關西ノ實業  
 大會ニ於キマシテ失業ト云フ言葉ヲ用キテ  
 居リマス、失業ハ増加スル、地方ダケニ委  
 セテ置ク譯ニハ行カナイカラシテ、政府ハ  
 適當ナ方針ヲ執ラナケレバナラヌ、斯ウ云  
 フコトヲ政府ハ御述ベニナツテ居ル、到ル所  
 デ失業ヲ御述ベニナルノデアリマス、誠ニ  
 此點ハ適當ナラズト考ヘマス、斯ノ如クニ  
 シテ明年度ノ豫算ニ付テハ施設ノ見ルベキ  
 モノナク、地方ノ救濟事業ト云フモノデ今  
 日迄ハ進ンデ來タ、濱口總理ハ失業ト云フ  
 モノハ地方的ノモノデアアルカラト云フコト  
 デ首尾一貫シテ居ル、然ルニ今日中央ノ事  
 業トセラレタト云フコトハ、其御言葉ニ反  
 シテ居ル、無責任ナ御言葉デアルト云フコ  
 トニナルノデアアル、ソレナラズ全國ニ向テ  
 失業救濟ヲサレル、道路公債、是ハ全國  
 デハアリマセヌケレドモ、農林省デヤレオ  
 出デニナル七千萬圓ノ事業ト云フモノハ、  
 全國津浦、津浦ニ及ブ事業デアリマス、サウ  
 云フ風ニ、津浦ニ及ブ事業ト云フモノハ及  
 バナイモノデアアルト、濱口總理ガ明言セ  
 レタ所ト、ハッキリト反對シタ事實ニナルノ  
 デデアリマスガ故ニ、政府ノ政策ハ破綻シテ  
 居ルト私ハ思ヒマス、殊ニ行政財政稅政ノ  
 整理ヲナサルト云フノデアアルガ、是ハ藤村  
 男爵ノ仰セニナルヤウニ、七年度ニナラナ  
 ケレバ實現出來ナイコトデアリマスカラシ  
 テ今日ノ間ニハ合ヒマセヌ、私ハ茲ニ於テ  
 最後ニ一言ヲ申上ゲタイ、實ニ今日ハ國民  
 生活ハ不安デアリマシテ、速ニ此財界ノ對  
 策ヲ講ジテ安定セシメテ、國民ノ心持ヲ正  
 シク動クヤウニスルルコト云フコトガ大切デア  
 ル、若シ之ヲ怠ルテ居リマシタナラバ、國  
 家ノ前途ト云フモノハ誠ニ憂慮ニ堪ヘナイ  
 モノガアルト考ヘマス、今ヤ我が社會ハ革  
 新ノ機運ト云フモノガ充チテ居リマス、何  
 處迄モ此社會ヲ革新スルト云フコトハ今日

必要ニナツテ居リマス、社會ヲ革新シテ即チ  
 先覺者トシテ進ムナクンバ是ハ容易ナラヌ  
 コトデアアルト思ヒマス、然ルニ現内閣ノ如  
 ク因循姑息、消極退嬰政策ヲ御執リニナツ  
 テ、進取ノ氣象ヲ缺イタ者ハ、私ノ申上ゲ  
 ル是ハ時勢ニ逆行シタルモノナリト考ヘル  
 次第デアリマス、私ハ今日ハ國運ヲ害サナ  
 イ範圍ニ於テハ、ドウシテモ大イニ根本的  
 ノ改革ヲシナケレバ、我社會ト云フモノハ  
 改善出來ナイト考ヘテ居ル一人デアリマ  
 ス、大イニ改革ヲシナケレバナラヌ、而シ  
 テ今日其左傾思想ニ禍ヒサレテ居リマスル  
 者ハ誰デアアルカト申シマスレバ、二十歳カ  
 ラ三十歳位ノ者ガ大體ト申上ゲテ宜シイノ  
 デアリマス、此前途有爲ノ青年ノ方向ヲ誤  
 ラシメルト云フコトハ、誠ニ私ハ何ト申シ  
 テ宜シイカ、言葉ヲ用キルコトノ出來ナイ  
 ダケ、其人達ニ對シテ同情ノ念ヲ禁ズル能  
 ハザルモノガアリマス、若イ人ガ斯ノ如ク  
 誤ルト云フコトハ是ハ誠ニ重大事デアリマ  
 シテ、其者ノ爲ニモ思想問題ニ付テハ十分  
 ニ考ヘナケレバナラヌニ拘ラズ、安達内相  
 ハ思想問題ニ付テハ全ク無理解デオ出デニ  
 ナル、即チ警保局ノ特高豫算ト云フモノニ  
 大削減ヲ加ヘテ居ラレルコトニ依リテ見テ  
 モ是ハ分ルノデアリマス、斯ウ云フ次第デ  
 私ハ政府ニ御尋ヲ致シタイト思フノデアリ  
 マス、時間ガ何デゴザイマスルカラ、午後  
 ニ互リマシテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス  
 ○議長(公爵德川家達君) 休憩ヲ致シマシ  
 テ、午後一時三十分ヨリ開會イタシマス  
 午後零時三十二分休憩  
 午後二時九分開議  
 ○副議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ報告ヲ  
 致サセマス  
 【瀨古書記官朗讀】  
 本日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル  
 一時金撥兵恩給法中改正ノ請願外二件ノ請  
 願ハ各、意見書ヲ附シ直ニ之ヲ政府ニ送付  
 セリ

○副議長(公爵近衛文磨君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、山岡萬之助君

(山岡萬之助君演壇ニ登ル)

○山岡萬之助君 私ハ午前ニ述ベマシタ所ノ中ノ質疑ノ要點ヲ茲ニ指摘イタシマシテ御答辯ヲ求メタイト思ヒマス、先ヅ井上藏相ニ御尋ヲ致シマス、現内閣組織以來、財界ノ不況ト云フコトガ整理緊縮ノ結果デアルト云フコトハ、五十八議會ニ於テハ、キリ濱口總理ハ御認メニナッテ居リマス、即チ速記録ニ明瞭ニ書イテアリマス、不景氣ノ一部ヲナシテ居ル……緊縮政策ガ不景氣ノ一部ヲナシテ居ル、ソレハ確カニ認ムル、其責任ハ負ヒマス、而シテ其原因ノ中ニ世界的不況ノアルコトハ、是ハ斷テ置クト云フ意味デアリマス、而シテソレニ對シテ相當ノ措置ヲ講ズルモノデ、其點ニ於テ冒頭ニ申上ゲマシタ具體的施設ヲ必要トスルト云フ御言葉デアリマスガ、此事ハ井上大藏大臣ニハハキリト御念頭ニ御置キ下サツタ上ニ御答辯ヲ求メマス、今日マデ上下兩院ニ於テ井上大藏大臣ノ仰セニナッテ居ル所ハ、今日ノ不況ハ世界的不況デアアル、日本獨リ其不況ノ中カラ景氣ノ立前ニ居ル譯ニハイカナイ、其事ニ於テ勿論世界的不況ト云フコトハ下ナタモ認ムル所デアリマシテ、敢テ大藏大臣ノ辯明ヲ俟チマセヌ、唯私ノ問ハムトスル所ハ今日ノ不況ノ一因ト云フモノハ確カニ現内閣ノ對策ガ惡イ、此ニ在ルト云フコトヲハキリト大藏大臣ハ御認メニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、其點ニ付テ明瞭ニ御答ヘテ願ヒタイノデアリマス、次ニ之ニ牽聯イタシマシテ、世界不況ハ昨年五月承知シタト云フ仰セデアリマス、然レドモ前議會ニ於テ濱口總理ハ、世界不況ガ可ナリ大キイ原因デアルト云フコトヲハキリト御述ベニナッテ居リマス、總理大臣ガハキリト御認メニナッテ居ルノニ議會ガ濟ンデ五月ニナッテカラ自分ハ原因ヲ認メタト云フノハ如何ナル事柄デア

リマスカ、濱口總理ノ統率セラレタル閣員デアリマスル以上ハ、如何ニ井上大藏大臣ガ個人トシテ御考ヘニナリマシテモ、閣員トシテハ是ハドウシテモ御認メニナラニヤナラヌコトト、私ハ思ヒマス、サウスルト五月ニナッテ初メテ世界不況ヲ知ツタト云フ御言葉ハ茲ニ用キル譯ニハ私ハ參ラヌト思フノデアリマス、個人ノ御考デナク閣員トシテノ御考ハドウシテモサウデナケレバナラヌト考ヘマス、ソレニ付キマシテデス、茲ニ私ハ金解禁ノ聲明書ヲ一部申上ゲテ見タイノデアリマス、前文ガゴザイマシテ……濱口總理ノ聲明書デゴザイマス、斯クテ外國財界ノ變遷ト相俟テ内外諸般ノ準備全ク成リ今ヤ解禁ヲ行フモ經濟上何等憂フベキ事態ヲ發生セザルベキ確信ヲ得タルヲ以テ茲ニ金ノ輸出取締ヲ撤廢スル大藏省令ヲ發布シ明年一月十一日以後ノ金ノ輸出禁止ヲ解除スルコトトセリ云々、同時ニ井上大藏大臣ハ、云々(今ヤ内外ノ準備全ク成レルヲ以テ茲ニ解禁ヲ行フモ金銀市場其他財界一般ニ對シ急激ナル影響ナカルベキヲ確信ス云々、政府ノ財政ハ依然緊縮ヲ持續スルノ要アリ)云々、斯ウ云フ御聲明ヲナステ居ルノデアリマス、果シテ然ラバ一昨年ノ十一月二十一日、十月末ヨリ米國ノ不況ノ現ハレテ居ルコトハ下ナタモ御承知ナコトデアリマス、其次第デアアルノニ、斯ノ如ク現内閣ハ御聲明ニナッテ、國民ハ之ニ依テ解禁サレルト云フコトハ決シテ惡イ結果ニハナラヌト云フコトヲ勿論信ジテ居タルノデアリマス、前議會ノ時ニ、世界不況ト云フコトハ現内閣ハ内閣トシテ承知シテ居ルモノト言ハナケレバナリマセヌ、而シテ金解禁ノ聲明ニ於テ斯ノ如ク「確信ス」ト斯ウ仰セニナッテ以上ハ、之ニ對シテ世界不況ハ我國ニ於テ已ムヲ得ナイコトデアアル、デ私ハ一歩ヲ讓テ、井上大藏大臣ガ知ラナカッタ、斯ウ云フコトデアリマシテ見タ所デ、輔弼ノ責任ハ、閣員ノ行動デアアルト否ト、又知ルト

否トヲ問ハズ、之ニ任ズベキモノデアアルコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマス、故ニ單ニ、已ムヲ得ナイト云フ御言葉ダケデハ我ニハ承服スルコトハ出来ヌノデアリマス、ドウ云フ責任上ノ御感ジガアリマスルカ、明答ヲ求メル次第デアリマス、次ニ金解禁ハ爲替相場一割以上、井上藏相ハ平均シテ先ヅ七分ト云フコトヲ發表セラレテ居リマスルガ、組閣以來金解禁ノ聲ニ依テ爲替相場ハ次第ニ上テ來テ居リマス、四十三弗四分ノ三デゴザイマシタカ、段々ニソレカラ良クナツテ今日ノ狀況ニナッテ居リマスルガ、解禁前カラ上テ居ルコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマス、是故ニ一割以上上ガツテ居ルコトハ、是ハ公知ノ事實トシテ證明ヲ俟タヌト思ヒマス、カルガ故ニ物價ハ當然低落イタシマスルコト云フト、生産費ノ重要部分ヲ占メテ居リマスル勞銀ヲ下ゲテ、速……先日藏相ノ御言葉ニハ、物價カラ生産費、生産費カラ勞銀、其間ニ變化ガアルカラシテ、非常ニ困難ヲスル……是ハ御尤デアリマス、是ハ逆ニ來テ居ルカラサウデアアル、初メカラ勞銀ヲ下ゲテシマヘバ即チ順調ニ進ンデ行クノデアリマス、現内閣ノ政策ハ其點ニ於テ逆ニ來テ居ルノデアリマスルカラ、ソコニ非常ナ無理ガアリマス、非常ニ困難ガアリマス、是故ニ勞銀ヲ低下スルコトガ最モ第一ニ必要デアリマス、之レ故ニ組閣間モナク減俸案ヲ出シ、之ヲ世間ニ發表イタサレテ、斷ジテ之ヲ行フト云フコトガ濱口總理ノ御言葉デアッタノデアリマス、然ルニ先刻申上ゲマシタヤウニ、世間ガ之ニ對シテ反對ノ聲ヲ揚ゲマシタカラシテ撤廢イタシテシマッタ、是ハ現内閣ノ根本政策ヲ破壊シタモノデアリマス、是ガ爲ニ今日ノ如ク經濟界ハ總テ逆行イタシテ居ルノデアリマス、勞銀ヲドウシテモ下ゲヌケレバ經濟界ハ順調ニハ進ンデ行カナイト私ハ考ヘマス、是故ニ此政策

ヲ撤廢ナサツタト云フコトハ、是ハ政策トシテハ現内閣ノ重大ナル責任ガ茲ニアルト思フ、之ニ付テ責任上下ウ御考ヘニナルカラ同ヒタイノデアリマス、デ其コトニ牽聯イタシマシテ、緊縮政策ノ遂行ガ不可能ニナリマシテ、段々申上ゲマシタヤウニ、地方ノ財政ハ膨脹ニ次グニ膨脹ヲ以テスル、低利資金ハ地方ヘ融通スル、又中央ニ於テモ、公債政策ヲ假令……一時ト仰セラレタ私ハ是ハ一時デキヤナイト思フ、何故ナラバ失業救済ト云フモノハ五年度カラ八年度マデ計畫シテ居ラレルト云フコトハ先刻申上ゲタ通りデアリマス、今年ダケデ是ガ濟ムト云フコトハ斷ジテアリマセヌ、果シテ然ラバ、一年限リト云フ御言葉ハ、是ハ全ク氣休メノ言葉デアッテ、事實ハ不可能ナコトデアリマス、是ガ中央デ三千万ノ公債ヲ來年續イテ御ヤリニナラヌコトニナレバ、今度ハ地方ノ公債ヲ膨脹スルカ、何處カハ必ずオヤリニナルト思フ、ドウ云フ政策ヲ執ルカ、ソレハ別ノコトデアリマス、兎モ角一年限ト云フ意味デ、財政ノ計畫ト云フモノハ出來ナイコトハ當然ノ事實デアリマス、サウ云フ次第デアリマスルカラ、緊縮政策ト云フモノハ七千万ノ低利、地方起債、其他右申上ゲマシタヤウナ事柄ハ是ハ破レテ居リマス、緊縮政策ガ破レテ居ルト云フコトハ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナルカ、次第々々ニ必要ノ程度ハ延バシテ宜イト云フ段々ノ御説明デアリマスガ、ソコデ私共ニハ分ラヌノデアリマス、緊縮政策ト云フノナラバ、四年度ノ結末ノツイタ、ア、云フ程度ニ於テ、ドウモデモ御遂行ニナルト云フコトガ、國民ハ之ニ依テ初メテ自己ノ經濟策ヲ立テルト云フコトガ出來ルノデアリマス、政府ハ何ヲナサルカサッ、ハリ分ラヌデハ、國民ノ經濟ノ行動ハ如何ニシテ宜イカ迷ハザルヲ得ナイノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、政府ガ緊縮政策ヲ立テマシタナラバ、表ダケ左様ノ仰セガアルダケデハイカヌノ

デアリマス、事實ガ、數字上ニ於テ、其他ノ意味ニ於テ、ハッキリトナラナケレバ、是ハ國民ノ經濟ガ今日ノ如ク政治ト直接關係ガゴザリマシテ、政府ノ緊縮政策カラ國民ハ墮炭ニ苦シム今日ニ於テ、是ハドウシテモナサルベキ義務ガアルト私ハ考ヘマス、然ルニ表ニハ緊縮政策ヲ捨テナイト云フ仰セガアリマスガ、事實ハ斯ノ如クデアリマス、斯ノ如キ事實、此主義ト對比上ニ於テ如何ニ御説明ニナルカ、段々其點ハ一向緊縮政策ハ破テ居ラナイト云フ御言葉デアリマスグレドモ、サウヂヤナイ、私ハ此カサテ居ルコトハドウシテモ膨脹シテ居ルノデアリマス、ソレデ少シモ差支ナイト云フコトデアリカテ能ク御説明願ヒタイ、ソレカラ次ニ御專ニ致シタイノハ、昨年殊ニ後半期ニ於キマシテ、政府ノ低利資金、銀行即チ金融機關ノ働キ方其他ニ……即チ兌換券其他ニ依リマシテ數億圓、此數億圓ト申上ルコトハ茲ニ一々ノ數字ヲ申上ルルコトガ必要ト私ハ思ヒマスガ、數億圓ノ金圓ガ財界各方面ニ融通ニ置カレタノデアリマス、是ガ財政上ニ於テ中央ノ施設デアラウト、地方ノ施設デアラウト、或ハ金融機關ガ普通銀行デアラウト特殊銀行デアラウト、若クハ政府ノ命令ニ依リタモノデアラウト、或ハ政府ノ意圖ヲ金融機關ノ人達ガ參酌シテヤッタノデアリマシテモ、サウ云フコトハ私ハ一ツモ伺ハウト思ハヌノデアリマス、唯結果トシテ斯ノ如キ事情カラ多額ノ金圓ト云フモノガ融通ニ置カレタト云フ事實ハ、是ハ事實デアリマシテ、無論御認メニナルコトデアリマスガ、是ガ即チ此緊縮政策ニ反シテ居ル、一時應急ノ、臨機應變ノ處置ト云フ御言葉ヲ常ニ用ヒラレマスガ、斯ウ御辯明ニナルカト思ヒマス、兌換券モ今年ニナレバ收縮シタト仰セニナルケレドモ、緊縮政策ト云フモノハ、サウ云フ便宜主義ノ行ハレルモノデハ、私ハ斷ジテナイト思フ、苟モ緊縮政策ヲ執リマシタ

以上ト云フモノハ、何處々マデモ、インフレーションノ來スヤウナコトハナサツテハナラヌト思フ、然ルニ今日ハ昨年度ノ後半期ニ於テ普通銀行ガ二十七位デアリマスカ、休業イタシテ、預金ハ二億モ減ルト云フヤウナコトデアッタガ、其儘拾遺キマスルト云フト、財界ハ必ず容易ナラヌ事態ヲ惹起スルノデアリマス、茲ニ於テサウ云フ策ヲ御執リニナラヌアルカラ、是ガ根本ニ於テ緊縮政策ト云フモノガナカリセバ、吾ハ開フ必要ハナイ、寧ろ大藏大臣ノナサツコトガ賢明デアリ、過去ノ御經驗、即チ金融界ニ貢獻ナサツタ其經驗カラ最モ能ク處理セラレタト申上ゲテ宜イノデアアル、然ルニ濱口總理ハ前ノ議會ニ於テモ、其後ニ於テモ、政府ハ決シテ此緊縮政策ハ放棄シナイ、國民ノ消費節約ヲモ遂行スル、斯ウ云フノデアリマスルカラ、大藏大臣ガ貴衆兩院ニ於テソレハ宜イ事ダト仰シヤル、宜イ事ニ違ヒナイノデス、此根本ノ主義ナカリセバ、我々ハ雙手ヲ擧ゲテ、財界ノ大問題ヲ起サズシテ昨年ノ暮ヲ經過シタコトニ付テハ、之ヲ賞揚ヲ致シテ宜イノデアアル、之レ故ニ此點ニ於テ通貨ノ膨脹ヲ來シ、過去ニ於ケルソレト同ジニナラヌコトヲ私ハ……豫算ヲ御組ミニナラヌト申シテ宜イノデアリマス、片岡大藏大臣ガ最後ニ代リマシタケレドモ、大體アレハ濱口大藏大臣ノ財政計畫デアリマス、最初緊縮政策ヲ執リテ十五億ニ緊縮イタサレタノデアリマス、ソレナラ十五億ト云フ程度ニ於テ大體ヤツテオイデニナル、是ガ緊縮政策ヲ標榜スル内閣トシテハ當然ノコトデアアルト私ハ考ヘマス、此點ニ於テ井上大藏大臣ハ、昨年、五年度ノ豫算ニ於テハ先ヅ十五億ト云フ所デアリマスカ、ソレカラ本年ハ十四億臺ニ減額サレタノデアリマスルカラ、此點ハ結構ナコトデアリマス、是ハ咎ムルト云フコ

トハナイ、是ハ當然ノ筋デアアル、故ニ濱口總理ガ大藏大臣トシテナサツタコトハ間違テ居ル、十五億カラ十六億ニナリ、最後ノ豫算ハ十七億何千万ト云フ多額ニナラ居ルノデアリマス、其處マデ緊縮内閣ガ膨脹サセテ、何ガ緊縮内閣デアリマスカ、之レ故ニ中央ノ財政トシテハ井上大藏大臣ノナサツタコトハ主義上ニ於テ結構デアリマス、ガ併シ、私ハ之レ故ニ申スノデアリマス、地方ノ經濟ト云ハズ、中央ノ經濟ト云ハズ、金融ノ機關ノ其何レタルト問ハズ、今日數億ノ金ガ財界ニ融通セラレテ居ルト云フコトハ、國家財政ヲ十四億ニナサツテモ、之ニ加ヘルコト二億トナレバ、直チニ十六億、三億加ヘマスト十七億ニナルノデアリマス、其程度ニ地方財政及ビ其他ノ關係ニ於テ確カニ膨脹イタシテ居ルノデアリマス、是デ何處ニ緊縮政策ノ徹底ト云フコトガ申サレルノデアリマスルカラ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス、斯ノ如クニシテ私ハ大藏大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、過去ヲ顧ミテ財界ノ不況對策ト云フモノハ十分デアリマセヌガ故ニ、其十五億ノ豫算、十四億ノ豫算ガ經濟界ニ持行クコトガ出來ナクナラヌデアリマスルカラ、此對策ハ十分ナラズ、左様ニ考ヘマス、而シテ將來此難局ニ處シテ行キマスル上ニ付テハ、ドウシテモ何カ考ヘナケレバナラナイ、所ガ緊縮政策ノ結果財源ト云フモノヲ有テ御出ニナラヌデアリマス、是故ニ此議會ニ於テ審議スベキ所ノ豫算ノ施設ト云フモノハ、見ルベキモノハ何モナイノデアリマス、斯ウ云フコトデアリマスレバ、政府ノ政策ト云フモノハ私ハ全ク行詰タモノト……意見デハアリマセヌ、是ハ事實トシテ申上ゲテ宜イノデアリマス、行詰タモノト申シテ宜シト思フノデアリマス、デ言葉ヲ換ヘレバ今日ノ難局ニ處シテ國民生活ノ不安ヲ除去スルト云フコトニ付テ策ヲ御有チニナラ居ラヌト申シテ宜イト思フノデアリマス、

之ニ對シテ大藏大臣ノ所見ヲ承リタイノデアリマス  
 (國務大臣井上準之助君演壇ニ登ル)  
 ○國務大臣井上準之助君 只今ノ山岡君ノ御質問ニ對シテ答辯ヲ致スノデアリマスガ、日本ノ現代ノ不景氣ト云フモノハ動トモスルト世界ノ不景氣ノ結果ト見ルガドウカ、斯ウ云フヤウナ御質問ノ趣意デアリマスガ、私ハ常ニ申シテ居ルノデアリマス、不景氣ガドウ云フ程度デアアルカト云フコトハ數字ニハ甚ダ説明シ難ルノデアリマスガ、之ヲ其一部ヲ説明シ得ル物價指數ヲ申シマシタラバ、昨年ノ六月カラ昨年ノ暮マデニ日本ノ物價指數ハ二割七分以上下ガツテ居リマス、其原因ヲ糾シテ見マシタラバ、金解禁ヲスレバ爲替相場ガ上ガル、日本ノ通貨ガ對外的ニ價值ガ上ガルノデアリマスカラ、ソレダケ外國カラ直接輸入スルモノハ上ガル次第デアリマス、内地全體ノ物價ハ間接ノ結果デアリマスカラ是モ相當ニ上ガリマセウガ、爲替相場ノ上ガツタ程ハ上ガラヌト考ヘテ居リマスガ、サウ云フコトデアリマス、從テ私ハ二割七分ノ中デ金解禁ノ結果ガ一部アル、併ナガラ昨年ノ一月十一日ニ金解禁ヲ決行イタシマシタ時ノ日本ノ物價指數ハ八分バカリ下ガツテ居リマス、サウシテ昨年中ニ、從テ二割近イ物價ガ下ガツタノデアリマスガ、數字ニハ説明ガ出來ヌノデアリマスガ、昨年ノ左程極端ニ物價ノ下ガツタノハ、私ハ大體申シマスト、世界ノ不景氣ガ大部分デアアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、繰返シテ申シマスレバ、金解禁ノ結果、財界ノ建直シ、財政ノ緊縮ト云フモノガ、日本ノ不景氣ニ或ル部分ハ關係シテ居ル、併ナガラ昨年ノ左程物價ノ下ガツタノハ世界ノ不景氣ガ餘程大部分手傳テ居ルト、斯ウ云フ風ニ我々ハ見テ居ルノデアリマス、決シテ我々ノ政策ガ何等關係ナイトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、又全部ガ我々ノ政策ノ結果トモ考ヘテ

居ラヌノデアリマス、次ニハ昨年ノ特別議  
會ノ濟シテ五月ト云フ時迄ハ世界ノ不景氣  
ヲ認メテ居ラナカッタカ、濱口首相ハ相當ニ  
世界ノ不景氣ヲ認メテ居ラタガ、ソレヲ大藏  
大臣ハドウ考ヘルカ、斯ウ申シマス、昨  
年ノ一月ノ末カラ世界ノ物價ガ段々低落シ  
テ來ルト云フコトハ數字ノ上デハハッキリシ  
タ事情デアリマシテ、當然何人モ認メテ居  
ルノデアリマス、併ナガラ昨年ノ五月ト云  
フ月ヲ私ガ申上ゲマシタノハ、日本ノ最モ  
重要ナル物産デアアル所ノ生絲ガ急激ニ下落  
イタシマシタノハ五月カラデアアル、亞米利  
加ノ消費量ガ、非常ナ、五月カラ九月位迄  
減リマシテ、下ガッタデアリマシテ、極ク  
淡泊ニ申シマス、世界ノ不景氣ハ來ルデ  
アラウ、此物價ノ下ガリ工合ナラバ相當ニ  
世界ノ不景氣ハ來ルデアラウト云フコト  
ハ、誰モ認メテ居ラヌデアリマスガ、五月  
カラ九月位迄ニ外國ノ不景氣ガアレ程迄ニ  
深刻ニナリ、其結果ガ日本ニ是程及ンデ來  
タト云フコトハ、不明ト申シマス、昨日  
モ藤村男爵ヨリ御責メニナリマシタガ、ア  
レ程ノ程度迄來ヤウト、數字のニ、我々ノ  
頭ノ中ニハハッキリハシテ居ラナカッタノデ  
アリマス、又金解禁ノ準備ヲ十一月ノ二十  
一日ニ、一昨年ノ十一月二十一日ニ發表シ  
タ時ニ準備ガ成リタ、金解禁ヲシテモ差支ヘ  
ナイ、斯ウ云フコトヲ言フタガ、其時ニ分ラ  
ナカッタカ、其後ノ事情カラ見レバ非常ナ日  
本ノ狀態ハ變テタガ、其十一月ノ二十一日ニ  
其事ガ分ラナカッタ共不明ノ責任ヲドウス  
ルカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタガ、金  
解禁ヲ發表イタシマシタ時ニハ、山岡君ノ  
指摘サレルヤウニ、亞米利加ノ有價證券市  
場ハ可ナリ暴落イタシマシタノデアリマス、  
併ナガラ一億圓ノ「クレデット」ヲソレデモ  
拵ヘ得ルコトガ、十月カラ十一月ニ交渉ヲ  
シテ出來マシタノデ、昨年中ノ亞米利加ノ  
市場デアリマシタナラバ、恐ラクハ「クレ  
デット」一億圓ヲ、アノ時ニ紐育テ出來マ

シタガ、昨年中ナラバ到底出來ナカッタラ  
ウト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、從テ  
我々ハ昨年ニ亞米利加ノ事情、世界ノ事情  
ガ變化シタ如ク、一昨年ノ金解禁ヲ發表ス  
ル時ハ、世界ノ事情ハ左程ナクテ居ラナカ  
タ、昨年ノヤウニ極端ニナルヤウナ崩シハ  
ナカッタト、確カニ我々ハ考ヘテ居リマス、  
其次ノ御問ハ一部答辯ヲ致シマシタコトニ  
ナリマスガ、尙ホ繰返シテ申シマス、一  
昨年ノ七月ニハ爲替相場ハ一割トヨット上  
下テ居ラヌデアリマス、從ヒマシテ金ノ  
解禁ヲ致シマスレバ、外國カラ直接參リマ  
スモノハ一割以上物價ガ下ガルト云フコト  
ハ、是ハ當然ノ儀デアリマス、併ナガラ爲  
替相場ノ低落ガ内地ノ物價全體ニ及ンデ居  
ルノハ、一割以上及ンデ居ラヌト見ルノガ  
適當ト考ヘテ居リマス、何故カナラバ一割  
以上下ッタノハ、僅カ六箇月ノ間下テ居ラ  
ノデアリマスカラ、爲替相場ガ六箇月下  
ト云テ、日本全體ノ物價ニ直チニ六箇月  
位ノ短期間ニ及バウトハ考ヘテ居リマセ、  
從テ私ハ何時デモ大正十一年十二年位カ  
ラノ平均ヲ採テ先ツ平均六七分位ノ下ガ  
リ、斯ウ申上ゲタノハソコニ根據ガアルノ  
デアリマス、サウ云フ風ニ致シマスカラ、  
何レニシテモ爲替相場ガ騰レバ、内地全體  
ニ影響スルモノハ、少クトモ六七分以上影  
響スルト云フコトハ、我々ハ認メテ居ルノ  
デアリマス、ソレナラバサウ物價ガ下ガル  
ト、勞銀ヲ先ニ下ゲテ置カケレバ物價ハ  
本當ニ下ガラナイ、官吏ノ減俸ヲシテ置カ  
スケレバ、緊縮政策ハ不可能ニナル、物價  
ヲ下ゲルノニハ、ソレガ第一ニ探ルベキ處  
置ダト、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是ハ  
考ヘ様ニ依リマシテハ私ハ相關聯シテ居ル  
ト思ヒマス、勞銀ヲ下ゲレバ物價ガ下ガル  
ト云フノハ理窟ノ結果デアリマス、併ナガ  
ラ勞銀ヲ下ゲ得ル場合ニハ生活費ガ下  
居ラヌケレバ、ソコニ非常ナ無理ガ行クノ  
デアリマスカラ勞銀ハ下ゲ得ナイノデアリ

マス、ソコニ前申上ゲマシタガ、我々ハ物  
價ガ下ガル、生活費ガソレニ應ジテ下ガル  
ベキモノデアアルガ、ソレニハ相當ナ時ヲ要  
スル、物價ガ下ガレバ生産費ガ下ガル管デ  
アルガ、ソレニモ相當ノ時ヲ要スルト申シ  
タノハ、ソコニ意味ガアルノデアリマス、  
即チ勞銀ガ下ガレテモ、生活費ガ下  
バ、無理ガイカヌ、俸給ヲ下ゲテモ、物價  
ガ下テ、生活費ガ下ガレバ、無理ガイカヌ  
併ナガラ物價ヲ下ゲ勞銀ヲ下ゲ得ルナラ  
バ、之ヲ下ゲレバ物價ヲ下ゲルト云フコト  
ニ對シテハ、大ナル效果ガアリマセウ、併  
ナガラ社會ニ對スルヤリ方トシテハ、左様  
ナ無理ナコトモ極端ニモ出來ヌデアリマ  
シテ、相互ヒニ是ハ關聯シテ居ルコトト私  
ハ考ヘテ居リマス、其次ハ緊縮政策、政府  
ノ緊縮政策ガ各種ノ場合ニ矛盾シテ居ル、  
斯ウ云フ例ヲ擧ゲラレテ居リマスガ、第一  
ハ政府ガ緊縮ヲシナガラ地方ノ地方債ヲ殖  
エタヂヤナイカ、ソレハ一種ノ緊縮政策ノ  
破綻デアルト、斯ウ言ハレマスガ、度々説  
明申上ゲマス如ク、成程昨年度ニ於キ  
マシテ、マダ三箇月分アリマスガ、其  
中デ一億二千萬圓ノ地方債ヲ許可シテ  
居リマス、一月カラ三月マデニ多少殖エ  
マス、從テ絕對數モ昭和四年度ヨリモ殖  
エマセウト云フコトハ見込シテ居リマス、  
併ナガラソレハ私ガ申シマシタ如ク失  
業救済ノ爲ニ三千五百五十萬圓ノ公債ヲ出  
スト同ジコトニ、地方ニ於キマシテモ増加  
イタシマシタ數字ハ、殆ド地方ノ失業救済  
ノ爲ニ起シタ事業ニ對スル地方債デアリマ  
ス、是ハ我々ハ特別ノ場合ノ處置トシテ失  
業救済ノ爲ニ公債ヲ出シ、地方ニモ地方債  
ヲ殖ヤスト云フコトハ已ムヲ得ヌト考ヘテ  
居ル次第デアリマス、ソレカラ尙ホ其次ノ  
例ハ預金部カラ地方ニ七千萬圓、或ハ三千  
萬圓、或ハ中小商工業者ノ爲ニ二千五百萬  
圓ト云フヤウニ金ヲ貸スコトハ緊縮政策ト  
矛盾シテ居ル、斯ウ言ハレマスガ、是ハ左

様ニ考ヘヌノデアリマス、何故カナラバ  
預金部ノ金ハ地方カラ集メテ來マシタモノ  
ヲ地方ニ還元スルノデアリマシテ、大體年  
年集メテ來ルモノヲ、年々地方ニ還元スルノ  
デアリマスカラ、此爲ニ地方ガエライ膨脹  
政策ノ爲ニ禍サレルト云フコトハ斷ジテ  
無イト考ヘテ居リマス、ソレカラ其次ハ特  
別銀行デアラウト、普通銀行デアラウト、  
銀行ガ金ヲ貸スコト云フコトハ通貨膨脹ニ  
ナツテ、ソレガ現政府ノ緊縮政策ト相反スル、  
斯ウ云フコトデアリマスガ、是モ山岡氏ノ  
言ハル、ヤウニ、我々ハ考ヘテ居ラヌノデ  
アリマシテ、銀行ガ預金ヲ取出サレル爲ニ  
支拂ヲスル、自分ノ得意先ノ要求ニ應ジテ  
堅固ナ貸金ヲスルト云フコトハ當リ前ノコ  
トデアリマシテ、是ガ緊縮ヲシテハ、私ハ  
經濟界ハ立行カヌト考ヘテ居リマス、自分  
ノ資金デ自分ガ確實ナモノニ金ヲ貸スコト云  
フモノガ緊縮政策ニ反シヤウトハ考ヘヌノ  
デアリマス、此關係ニ於テ山岡氏ハ日本銀  
行ノ昨年ノ暮ニ通貨ガ非常ニ出タ、ソレハ  
一種ノ通貨膨脹デアラ、緊縮政策ト反スル、  
斯ウ言ハレマスケレドモ、昨年ノ暮ニ出マ  
シタモノト、昭和四年ニ出マシタモノト比  
較イタシマス、寧ろ昭和四年ヨリモ昨年  
ノ年末ニ出マシタ數字ハ少イノデアリマ  
ス、昭和三年ニ之ヲ比較イタシマシテモ、  
尙ホ一億以上一昨年以前即チ昭和三年ヨリ  
カ少ナイノデアリマス、左様ニ致シマシテ  
銀行ガ預金ノ支拂準備ニ要ル、斯ウ云フコ  
トノ爲ニ日本銀行カラ預ケ金ヲ引出シテ  
モ、或ハ貸付ヲ要求イタシマシテモ、ソレ  
ハ一種ノ消極的ノ意味ノ所謂金融制度ノ結  
果デアリマシテ、何モ進ンデ新シイ事業ヲ  
起シテ大ニ此時代ニ無理ニ通貨膨脹ヲセシ  
メテ、新シイ事業ヲスルト云フコトトハ非  
常ニ違ヒマス、從テ通貨ガ世ノ中ニ出テ、  
ソレノ結果ガ生ジマスノハ、大ニ積極的ニ  
進ンデ仕事ヲシヤウト云フカ、或ハ通貨ガ  
出マシテ永ク一年トカ二年トカ其儘通貨ガ

世ノ中ニ流通イタシマシタ時ニ、最モ著シイ弊害ヲ生ズルノデアリマシテ、一時的ニ消極的ニ通貨ガ出マシテモ、是迄ノ經驗ニ依リマシテモ、其モノガ通貨膨脹ト云フ惡イ結果ヲ生ジタコトハ是マデ餘リ認メマセヌノデアリマス、尙ホ昭和六年度ノ豫算ニ付テノ最後ニ御批評ガアリマシテ、昭和六年度ハ今日ノ此機會ニ對スル對策トシテノ見ルベキモノガ無イ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ勝田君、藤村男爵ヨリモ殆ド同様ノ御質問ガアッタノデアリマスガ、我々ハ經濟界ニ對スル對策ト致シマシテハ、今日ノ如キ時代ニハ、大體言ヒマス整理時代デアッテ金融疏通ヲ圖ル、經濟界ノ大體破綻、或ハ破壊ヲ來サヌヤウニ金融問題デ此時代ヲ整理シテ行ッテ、サウシテ居リマシタナラバ物價ガ落著イテ、ソレニ依ッテ生産費モ下リ生活費モ段々下ッテ來マシタラバ、サウシテ世界ト共ニ此經濟ガ復活スル時代ガ來マシタナラバ、日本ノ經濟ハ非常ニ安固ナラベキ所ニ立ツコトガ出來ルト、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、昭和六年度ノ豫算ノ御批評ニ對シマシテハ、非常ニ急激ニ歳入ガ減リマス爲ニソレニ應ジテ歳出ヲ減ス、斯ウ云フコトノ處置ヲ取ッテ爲ニ大體見ルベキモノガ無イトノ御批評ハ左様ナ所カラ參リマシテ居リマスナラバ、サウ云フ意味ニ出來テ居ル次第デアリマス、一應御答辯申上ゲマス

〔山岡萬之助君演壇ニ登ル〕

○山岡萬之助君 井上藏相ノ御答辯ハ是デ満足シタトハ考ヘマセヌガ、再質問ヲ致スト云フコトハ差控ヘマス、唯一言イタシテ置キタイコトハ現内閣ノ緊縮政策ガ今日ノ財界ニ對シ關係ガアルト云フコトハ、御言葉ヲ用キラレマシタガ、關係ガアルト云フ位ノコトデハナイ、即チ一方ニ原因ヲ置イタモノハ、他方ニ如何ナル原因ガアラウト、當然其關係ニ對シテ責任ノ地位ニ立タネバナラヌノデアリマス、次ニ世界ノ不況

ヲ知ラナカッタト云フコトハ不明デアルト云フ御言葉デ今日モ結ンデ居リマス、私ハサウ云フコトヲ伺ッタノデハナイ、知ルト知ラザルトヲ問ハズ、輔弼ノ責任ト云フモノハ總テラ感ジナクチャナラヌ、ドウ御考ヘニナルカト云フコトヲ伺ッタノデアリマス、ソレニモ適當ナ御言葉ガ無イ、ソレカラ次ニ減俸問題ニ付キマシテハ私ノ問ハントスル所ヨリモ餘所ノ御話ガアッタノデアリマス、勞銀ヲ下ゲルニハ生活費ガ下ッテ居ラナケレバイケナイ、若シ果シテ然ラバ生活費ガソレ程急ニ金解禁ヲ聲明サレテ直グ下ルモノデアリマセヌ、然ラバ何ガ故ニアノ重大ナル聲明ヲ爲サッタノデアアルカ、ソレガ私ノ問ハントスル所デアリマス、ソコヲ御説明ニナラヌデ願ミテ他ヲ仰シヤルト云フコトハサッパリ御答ニナリマセヌ、ソレカラ其他ノ點ニ於テ總括シテ私ハ申上ゲマス、事業ガ進ンデ行クニハ金ガ要ル、銀行ハ貸スノガ商賣デアアル、貸スノガ當リ前デアアル、是ガ今マデ常ニ仰シヤッタ御言葉デアアルカラ、其御言葉ヲ指摘シテ私ハ適當デナイ、緊縮政策ヲ執ッテ行ク以上ハ不當ナ借金ハイケナイト云フコトヲ常ニ仰シヤッタ、ソレデアアルカラ財界ガ金融難ニ陥ッタ時ニ數億ノ金ヲ出スト云フコトハ不當ナ借金ヲ各方面ニ増加スル、ノミナラス地方ノ財政ニ付テハ、中央デ、緊縮シタ公債政策ヲ取ランガ爲ニ、地方公債ヲ増發シテ、而モ其中デ失業公債ト云フモノハ一部デアリマス、只今御辯明ニナッタヤウニ、地方ノ起債ト云フモノハ大部分ガ失業ダト仰シヤル、決シテサウデハアリマセヌ、此故ニサウ云フコトハ當然ノコトダト云フ仰セハ、私ハ承服イタシマセヌ、サリナガラ之ヲ再問イタスコトハ避ケマス、次ニ農林大臣ニ御尋フシタイノデアリマス、極ク簡單デアリマス、農林大臣ハ農村ノ疲弊困頓ト云フコトハ此議場ニ於テモ御話シナッタテ居リマス、是ハモウ既ニ御認メニナッタテ居ル、而シテ其原因ニ付テ、金

解禁ニ依ル爲替價格ノ回復、公私經濟ノ節約ト云フコトガ一小原因デアルト云フ御言葉ヲ使ッテ居ル、私ハ關係ノ諸君ガ、常ニ今日ノ不景氣ト云フコトニ付キマシテ、ソレハ僅カナホカノ原因ニシカナラヌ、今、井上藏相ノ御言葉ヲ聞ケバ、關係ガ僅カニアルノダト云フヤウニ關係ノ諸君ガ總テサウ云フヤウナ御言葉ヲ御用キニナッテ、ハッキリト、何ガ故ニ緊縮政策ト云フモノハ影響シテ居ルカト云フコトヲ、濱口總理大臣ト同等ニ御答ヘニナラヌノデアアルカ、コ、ガヤハリ政治家トシテ、モウ少シハッキリト爲サルコトガ、私ハ適當ダト思フ、是ガ故ニ一小原因ナリト云フ御言葉ハ、決シテ私ハ否定モ致シマセヌ、併シ一小原因デアリマシテモ、今日ノ如キ重大ナル關係ニナリマシタ以上ハ、是ハ實ニ容易ナラヌコトデアアル、而シテ然ラバ之ニ對シテ對策ヲ講ジナケレバナラヌコトハ論ヲ俟チマセヌ、然ルニ絲價ノ安定補償法ノ出動デアリマシテモ或ハ米穀法ノ出動デアリマシテモ、何等効ヲ奏シナカッタ、是モ大體御認メニナッタテ居ルヤウデアリマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ著ク〕

然ラバ如何ニ之ヲスベキヤト云フコトニ付テ農林大臣ハ先日、米穀法ヲ提出スル、ソレカラ小作法モ提出スル、之ニ依ッテ對策ヲ講ズル、其場合ニ詳シク述べルト云フヤウナ御言葉デゴザイマシタケレドモ、私ハ先刻來縷々述べマシタヤウニ今日ノ不況ト云フモノハ、國民生活ガ既ニ生活線ノ上ニ來テ居リマシテ、餘裕ノ無イモノデアリマス、否、生活線以下ノ困難ナ狀況デアリマス、斯様ナ優良ナコトヲ待ッテ居ル餘地ハ無イ、即チ行政整理財政整理ヲスルト云フコトハ常ニ此法律ヲ改正シテ實施スルト云フコトハ容易ニ、相當ナル時ヲ要シマス、故ニ是ハソレマデ持ッテ居ルベキ今日ノ農村ノ狀況デハナイト云フコトヲ私ハ先刻來縷々述べタノデアリマス、故ニソレニ依ッテ相當

ナ處置ヲ講ゼラレヌケレバナラヌカト思ヒマスガ、何カ御持合セガアレバ伺ヒマスガ、私ガ穿鑿シタ所デハドウモ御持合セガ無イヤウデアリマス、サウナリマスト云フト此過半數ヲ持ッテ居ル所ノ農村ト云フモノガ、先刻來申シマスヤウニ小作爭議ガ起キマシテ、此中層ノ階級ニ思想ガ浸潤イタシマシテ行キマシタナラバ、遂ニ取返シノ付カズ容易ナラザルコトガ起キル、ソレニ對スル農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ、次ニハ文部大臣ニ承ハリタイノデアリマス、文部大臣ハ前議會以後學制ノ改革ニ付テハ多大ノ努力ヲ御拂ヒニナッテ居リマス、此點ニハ敬意ヲ表スルモノデアリマス、去リナガラ爲スッテ居リマスルコトハ、中等學校ノ制度、教育制度ヲ實際化シテ、今一ツ申セバ實業化シタノデアリマシテ、是モ時運ニ伴ヒ進ミマシタ所デ、文政審議會ニ於テモ承認サレタコトデアリマスカラ、是ハ結構ナコトト思フノデアリマス、私ハ昨年モ文相ニ質問イタシタコトハ、今日ノ就職難ヲ救ヒマスルニハドウシテモ此修學年限ヲ、大學及ビ專門學校ニ於テモウ一ト息整理シナケレバナラヌ、殊ニ大學教育ヲ整理シテ、モウ一ト息年限ヲ短縮シテ、若クシテ社會ニ出シテ、サウシテ十分ナル活躍ヲ爲シテ行ケルヤウニスル、即チ社會ニ立ツ場合ニ於テハ中等學校其他ノモノト同等ノ所ニ立ッテ而シテ進ンデ行キマスナラバ、其學問ノ素養ガ日ナラズシテ十分ニ發揮スルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、是故ニ其場合ニ於テ今日ノ如ク二十六七歳ニ迄モナリマスト云フト、遂ニ活動能力ヲ失ッテ居リマスルカラ、甚ダ容易ナラヌ思想上ニモ影響ヲ及ボシテ茲ニ問題ヲ起スノデアリマス、ソレ故ニ文部大臣ハ此點ニ付テ非常ニ御懸念ニナッテ先刻申上ゲタヤウニ學務部長會議ニ於テ御演說ニナッテ居ルノデアリマス、ガ併シ之ニ付テ、思想ノ問題ニ付テ對策ヲドノ程度ニ御持チニナ

ルカ何ヒタイノデアリマス、尙ホ大學教育ニ付テハ速ニ適當ナル措置ヲ御講ジシナルノデアリカドウカ、此點ヲ伺ヒタイ、ドウゾ斯様ナ簡單ナ問ヒデアリマスルカラ、農林大臣及ヒ文部大臣ニ於カセラレテモ、問題ニ對シテ適切ニ一言ヲ承ハレバソレ澤山デアリマス、ドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○國務大臣(町田忠治君) 山岡君ノ午前ニ

於テ述ベラレマシタル農村今日ノ狀態、竝ニ現内閣ガ農村救済ノ爲ニ昨年來執テ居リ、マスル對策ニ付キマシテ、種々ナル御非難、御批評ガアリマシタ、例ヘバ低利資金七千万圓ハマダ一切、實際ニ各府縣ニ配付サレテ居ラヌト云フ御非難ノ如キ、或ハ昨年春發動イタシマシタル生絲融資補償法ノ結果ガ、豫期セラレタ效果ガ擧ラヌノミナラズ、却テ多數養蠶家ニ不利益ヲ來シテ居ルト云フ、極論サレタ御意見モ承リマシタ、又米穀法運用ノ結果何等效果ガ今日ハ現ハレテ居ラヌト云フ御意見モ承リマシタ、左様ナ點ニ付キマシテハ私ハ衆議院ニ於テモ大體辯明ヲ致シ説明ヲ致シテ置キマシタガ、實ハ大切ナル問題トシテ皆サンノ御諒解ヲ得テ、大體ノ事情ヲ御參考ノ爲ニ申上ガテ見タイト思ヒマシタガ、只今山岡君ハ午前ノ御意見ハ暫クトシテ、茲ニ簡單ナル質問ヲ致スカラ簡單ニソレニ對シテ答辯ヲセヨト云フダケニ止リマスルガ故ニ、遺憾ナガラ午前ノ御意見ニ對シテ十分私ガ御説明ヲ申ス機會ハ只今得マセヌ、唯農林省ガ農村困難ノ今日何等カノ對策ガアルカト云フ御尋ネデアリマス、申上ゲル迄モナク此對策ハ分テ二ツトナルデアリマス、今後數年ニ互ル對策ガ其一ツデアリマス、今後數年ニ互ル對策ハ分テ共同施設、共同販賣ト農産物ノ公正ナル價格ヲ維持スル施設ガ一方面ニアリマス、一方面ニハ農産物ノ生産費ヲ出來ルダケ低廉ニスルト云フ、合理

的ナル經營法ヲサセルト云フ施設ガアルノデアリマス、此二ツハ要スルニ今後數年ニ互リ、先ヅ永遠ト申シテ宜シイカ根本的對策デアリマス、今日ノ困難ニ對スル應急策ト致シマシテハ、山岡君ノ御話ノ如ク昨年春預金部ノ協議ニ依テ得マシタル養蠶應急資金、主トシテハ春蠶、春ノ養蠶ノ應急資金デアッタノデアリマス、或ハ中小農工低利資金二千五百萬圓、或ハ穀貯藏ニ對スル三千万圓ノ低利資金、山岡君ノ御批評下スタ七千万圓ノ低利資金ノ如キハ其主ナルモノデアリマス、此七千万圓ノ低利資金ノコトニ付キマシテハ簡單ニ申述ベテ置キタイノハ、山岡サンハ是ハ失業防止ノ施設デア

ルカ、失業救済ノ施設デアアルカ、寧ロ失業防止若クハ農村振興ノ意味デアラグラウト云フヤウナ御意見ニ承リマシタガ、私ノ之ヲ考ヘマシテ是非施設イタサネバナラナイト云フ考ハ、農村振興ノ考モアリマス、農業勞力ノ使用ガ薄ライデ、是ガ爲ニ農村ノ勞力者ガ剩餘ヲ著シク生ズル、之ヲ防止スルト云フ意味モアリマス、併シ當時一般世ノ中ニハ失業問題ガヤカマシクナリマシテ、單リ經濟問題タルノミナラズ、或ハ社會問題、思想ノ動搖ヲ來ス虞アルト見レベキ程ノ失業問題ト相成、タノデアリマス、山岡君ノ御承知ノ通り、從來歷代ノ内閣ガ失業問題ヲ解決スルニハ、多ク六大都市ノ自由労働者ヲ如何ニシテ就業セシムルカト云フコトガ常ニ講ゼラレテアッタノデアリマス、併シ農村全國ニ互ル經濟不況茲ニ都會ニ於ケル失業労働者ノ數ガ殖エルトハ、歐米各國ト趣キ異ニシマシテ、日本ノ失業問題ハ都會ノ失業業者ヲ就職セシムルダケデハ解決出來ヌ、特殊ナル事情ノ下ニ日本ガアルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、景氣ノ好シイ時ハ農村ノ小作人ガ缺乏シテ、耕作ガ出來ナイト云フ迄ニ都會ニ労働者ガ參リマス、稍、不景氣ニナツテ都會ノ工業其他事業上ノ労働者ガ餘クタクト云フ時ニハ、

當局者モ從來ハ歸農イタセ、農村ニ歸レト云フコトヲ常ニ獎勵シテ居リマス、私共農村行政ヲ預メテ居ル立場カラ見マスレバ、甚ダ迷惑ナヤリ方デアリマス、故ニ此度ノ内務省ヲ中心トシマシタル失業公債ニ於キマシテモ、農林省ガ計畫イタシマシタル失業救済ニ於キマシテモ、都會ノ自由労働者ヲ救済スルニ此マラズ、全國ニ互リ即チ山岡君ガ今日午前御話ニナツタ如ク津、浦、三、マデモ失業救済、失業防止ヲスルト云フ立テ方ニ致シタノデアリマス、此内容ハ詳シク申サズトモ、大體ニ於テ應急施設ト致シマシテハ、此七千万圓ヲ以テ相當ナ效果ガ擧ゲラレト思ヒマス、山岡君ガ午前ノ御話ニハ自由労働者、都會ノ労働者ノ歸農致シタモノハ三十萬位アルグラウト云フ御意見ノヤウニ承リマシタ、私共統計上ニ於テテ斯様ナ數ガ出ルト的確ニハ申サレマセヌガ、都會ノ自由労働者ガ農村ニ歸テ居ル數ノ少クモイト云フコトダケハ御同感デアリマス、而シテ此七千万圓ノ低利資金ハ半簡年ノ間三千万圓、延人員トシテ三千

百人ニ職ヲ與ヘル、半簡年ニ之ヲ縮メマシテモ毎日十九萬人ノ餘レル労働者ニ職業ヲ與ヘ、之ニ依テ農村ノ施設ヲセシメ、農家ノ經濟ニ相當ナ餘裕ヲ生ゼシメルト云フ、或ハ開墾、養蠶、水産、畜産、山林各方面ニ互テ此七千万圓ヲ多クハ三分五厘ト云フ從來ニ無イ極ク廉イ利息ヲ以テ、長キハ二十九簡年、三十簡年ノ間之ヲ貸付ケテ施設ヲ致スト云フ計畫デアリマスルガ故ニ、失業防止ノ點カラ見マシテモ、失業救済ノ點カラ見マシテモ、將來農家ノ富ヲ増サシメテ、長イ間農村經營ノ上ニ相當進ンダ施設ト相成ルト云フコトニ對シテハ、尠カラヌ效果ガアルコトト存ジテ居リマス、而シテ屢、御非難爲サル、マダ實際出テ居ラヌヤナイカト云フ事情ハ、是ハ府縣ガ起債ヲ致スノデアリマス、府縣ガ起債ヲ致スガ爲ニ多クハ十二月ノ末ニ縣會ニ於テ決

議サレテ、其決議ノ結果ニ依テ現ニ内務省、大藏省ニ認可ヲ申請セラレテ、既ニ三十二府縣ハ最早審査結了シテ、近ク現金ヲ渡ス所ガ數縣アリマスルシ、御心配ノヤウニ長ク、名ハ美ニシテ實ニニ副ハナイト云フ御非難ハ、右ノヤウナ事情デ縣會ノ決議ガ十二月ニ濟ンデ、事務的調査ノ上カラ大藏省、内務省ニ於テモ相當ノ時日ヲ要スル、其事情ハ山岡君ノ最モ能ク御承知ノ筈デアリマス、併シ一日モ急イデ、一日モ早ク此七千万圓ヲ各地方ニ供給スルコトニ努力スル筈デアリマス

○國務大臣(田中隆三君) 山岡君ノ御尋ニ

御答ヘ致シマス、山岡君ハ學校ノ卒業生ノ就職難ノコトニ付テ非常ニ御憂慮ニナラレマシテ、此所謂知識階級ナル者ノ失業ガ動モスレバ思想問題ノ方ニ引付ケラレテ、憂フベキ事態ヲ惹起シハシナカラウカ、其對策トシテ學校卒業年限ヲ短縮スルコトノ學制ニ於テ何カ考ヘテ居リハシナイカト云フヤウナ御趣意デアッタヤウニ伺ヒマシタ、學制年限ヲ短縮シテ、早く世ノ中ニ立テ實際ノ仕事ニ携ハルコトヲ得ル人間ヲ造ルコトガ出來マヌアラバ、何人ト雖モソレハ歡迎スベキコトデアッテ、殆ド問題ニナラヌコトト思ヒマスルガ、今日ノ實際ニ於テ此學制年限ヲ短縮スルコトハ屢、教育者ノ一部ノ方面カラモ唱ヘラレテ居リマスケレドモ、諸君如何ニシテソレデヤ此年限ヲ短縮スルカト云フコトニ付キマシテハ、ナカノムツカシイ問題デアリマス、教育社會ノ人ヲ集メテ相談イタシマスルト、寧ロ年限ガ短キニ失シテ居ルヤウナ説ガ出テ、斯ウ云フコトモ教ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ學科モ設ケナケレバナラヌト云フコトデ、ナカノ單ニ經濟ト云フコトノ目的ニ副フヤウナ案ガ出マセヌ、ケレドモドウニカシテ制度全般ニ互ツテ只今御問ノ如キ趣旨ニ副フヤウナ根本改正ガアレ

バ、シタイト云フ心持ヲ以テ其調査研究ニハ怠ラヌデ居リマスガ、唯山岡君ノ憂ヘラルルガ如ク、學校卒業者ガ其就職スルコトヲ得ザル事情ハ、今日ノ如ク不景氣ト云フヤウナ特殊ノ問題カラ生ジテ來ルコトハ、是ハ別問題デアリマスガ、實際ニ付テ見マズルト、此學校ノ教育ハ小學校ニシテモ、中學校ニシテモ、高等學校ニシテモ、所謂普通教育ヲ授ケテ其學校ヲ終レバ、直ニ世ノ中ニ立ッテ、ソレノ實際ノ職務ヲ執ルノニ都合ノ好イヤウナ教育ヲシテ居ルコトニナッテ居ルノデアリマス、小學校ハ小學校ガケデ所謂普通教育ヲ完成スル、又中學校ハ矢張り普通ト云フ文字ハ附テ居リマスケレドモ、稍、小學校ヨリモ高等ノ程度ニ於テ普通教育ヲ完成スル、高等學校モ矢張りウナンデアリマス、然レドウモ遺憾ナコトハ誰モ彼モ、教育者迄モデス、又父兄ハ勿論デス、小學校ヲ卒ヘサシテ世ノ中ノ實業ニ就カシムルト云フ考ハ、持ッテ居リマセヌ、小學校ヲ出レバ中學校ニ入ルモノ、中學校ヲ卒業スレバ高等學校ニ行クモノ、高等學校ヲ出レバ大學マデ進マネバナラヌト云フ風ニ、皆其空氣ガ充チ満チテ居ルノデアリマス、自分ノ力モ、境遇モ健康モ少シモ顯著シマセヌデ、皆誰モ彼モ一樣ニ、高等ノ學校ノ方ニ進ミタイト云フヤウナ氣風ガ世ノ中ニ漲ッテ居ルノデアリマス、事實ハソレデハ其希望ノ通り達成セラレルカト云フト、ナカクサウ云フ譯ノモノデハナイ、三分ノ二位ノ人ハドウシテモ、或ハ少クトモ三分ノ一位ノ人ハ其外ノ學校ヘ進ムコトガ出來ナイ、ニモ拘ラズ唯、サウ云フ風ノ流行リノヤウニ一方ニ進ミタイト云フコトガ一つノ間違ト、ソレカラ其專門ヲ選ムコトニ於テ世ノ中ノ需要供給ノ關係ナド頓著ンナイデ唯大學ヘ這入レバ宜イ、唯高等學校ヲ卒業スレバ宜イト云フヤウナ心持デ、盲減法ニ大切ナ教育ノ事ヲ本人ハ固ヨリ、若イ者ダカラ賣マル譯ニモ行キマセヌガ、父

兄デモ世間デモ只今申上ゲタヤウナ事情ノ下ニ結局其人ノ將來ヲ損フヤウナ事ガ多イ、只今ノ如キ不況デアルトカ、就職難デアルトカ云フ叫ビノヤカマシイ時デモ、例ヘバ此昭和五年ニ卒業シタ實業專門學校ノ者ハ皆就職シテ居リマス、サウシテ他ノ方面ニ法律ダ、經濟ダ何ダト云フヤウナ文科ノ方ニ關係シタ者ニ付キマシテハ、漸クニシテ五割位ノ人ハ就職シタケレドモ、後ノ五割ガ殘ッテ居ルト云フヤウナ、是モ極ク粗ッポイ統計デアリマシテ、段々段々其中ニ就職スル月日ガ経テバソレノ納マル譯デアリマセウガ、實際問題ト致シマシテハ只今申上ゲマスルヤウナ風ニ專門ヲ選ム事ガ惡イ、デサウ云フヤウナ事ノ實際ニ基キマシテ、私就職後先ヅ以テ、小學校其モノニ付キマシテモ小學校ヲ終レタケデ世ノ中ニ出テ、ソレノ商賣人ノ家ニ參リマシテモ大工ノ家ニ參リマシテモ役ニ立ツヤウナ、無論十分ノ役ニ立ツ氣遣ヒモアリマセヌケレドモ、兎モ角モサウ云フ事ニ趣味ヲ有ッテ其心持ニナッテ此學校ヲ終レバ、ソレダケケ土臺トシテ世ノ中ニ立ッテ一人前ノ仕事ガ出來ルヤウナ者ニナルト云フ事ヲ、教ヘル人モ心懸ケネバナラズ、又生徒自身ハ固ヨリ其考ヲ以テ其現在ノ職務ニ勉強スルヤウニセナケレバ、所謂直接ニハ卒業後ノ就職ニ困リ又本人ノ將來ヲ誤ル事ガアラウト思ヒマシテ、其コトニ專念只今努メテ居ルノデアリマス、同ジ意味ニ於テ只今御質問中ノ御言葉ニモゴザイマシタ通り、中學校ニ對シマシテモ、中學校ダケデ普通教育ヲ完成スル制度ナンデ、中學校ヲ出タ者デアレバ社會ノ中堅ニ立ッテ各方面ノ實業ニ從事シナケレバナラヌ筈ノモノデアアル、然ルニ其中學校ノ生徒ガ皆大學ヘ進ンデ行クヤウナ心持ニナル、制度モサウ云フ風ニナッテ居ル、ソレ故ニ此中學校ノ制度ヲモ改メマシテ、實業方面ニ向フ人、ソレカラ更ニ進ンデ大學ノ方ニ行ク人、本人ガ

行キタイト言ッテモ、先生ガ能ク其生徒ヲ仕立テル間ニ、御前ノ性質ハ斯ウデアアル、御前ノ家ノ家庭ハ斯ウデアアル健康ハドウデアルト云フヤウナコトヲ對酌シテ、能ク先生ガ勸メテ説イテ其人ノ將來ヲ過タシメナイヤウニ極力努メテ居ル譯デアリマス、年限短縮ノコトハ繰返シテ申シマスガ、大問題ト致シマシテ非常ニ考慮イタシテ居リマス、現在ノ制度ハ御承知ノ通り非常ナ教育上ノ權威アル方ニガ御集リニナッテ根本的ニ定メラレテ居ル制度デアリマス、之ヲ改廢イタシマスルコトニ付テハ矢張り同ジ程度或ハヨリ以上ノ權威アル方ニノ御意見ヲ纏メテ相當方法ヲ立テナケレバナラヌコトト思ヒマスルノデ、旁、慎重ニ調査ヲ致シテ居リマスル譯デアリマス

○山岡萬之助君 簡單デゴザイマスカラ此席デ……只今兩大臣ヨリ御答辯デアリマシタガ、私ハ簡單ニ伺ヘバ宜カッタノデアリマス、然ルニ農林大臣ハ細カク御説明ガアリマシタガ私ノ……

○議長(公爵徳川家達君) 山岡君ニ申上ゲマスガ、モウ少シ大キナ聲デ願ヒタイト思ヒマス

○山岡萬之助君 承知イタシマシタ、私ノ問フ點ニ農林大臣ノ御言葉ハ觸レテ居リマセヌ、然レドモ兩大臣ニ對シテ再質問ヲ致スコトハ避ケマス、又首相代理及内相ニ對シマシテ問フベキ點ガゴザイマスガ、他日ノ機會ニ讓リマシテ此場合一先ヅ質問ヲ打切りマス、御清聴ヲ煩ハシマシテ恐縮ニ存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 此次ハ井上男爵ニ發言ヲ許ス願デアリマスガ、井上男爵ニ伺ッテ見タウゴザイマスガ、井上男爵ノ質疑ハ大分長ク時間ヲ要シマスガ、先ヅソレヲ伺ッテ見タイ

○男爵井上清純君 質問イタシテ見ナケレバ時間ノ點ハ申上ゲルコトハ出來ナイト思ヒマスケレドモ、大臣方ノ御答辯ハ四十分

モ一時間モ掛カルヤウデアリマスレバ、ドノ位掛カルカ分ラヌノデアリマスガ、私ダケノ御質疑ニハ約一時間位アレバ宜カラウト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、只今井上男爵ノ仰セラレタコトハ諸君ハ御聽キニナッタラウト考ヘマス、本日ハ是デ延會ヲ致シタラ如何カト考ヘマス、延會シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ノ議事日程ハ只今書記官ヲシテ報告致セルコトガ出來マセヌカラ、決定次第本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後三時二十八分散會

貴族院議事速記第九號正誤

頁	段	行	誤	正
八九	一	一	綿絲	棉花
八九	一	二	「ベンス」	「セント」
八九	一	三	「ベンス」	「セント」
八九	一	三	「ベンス」	「セント」